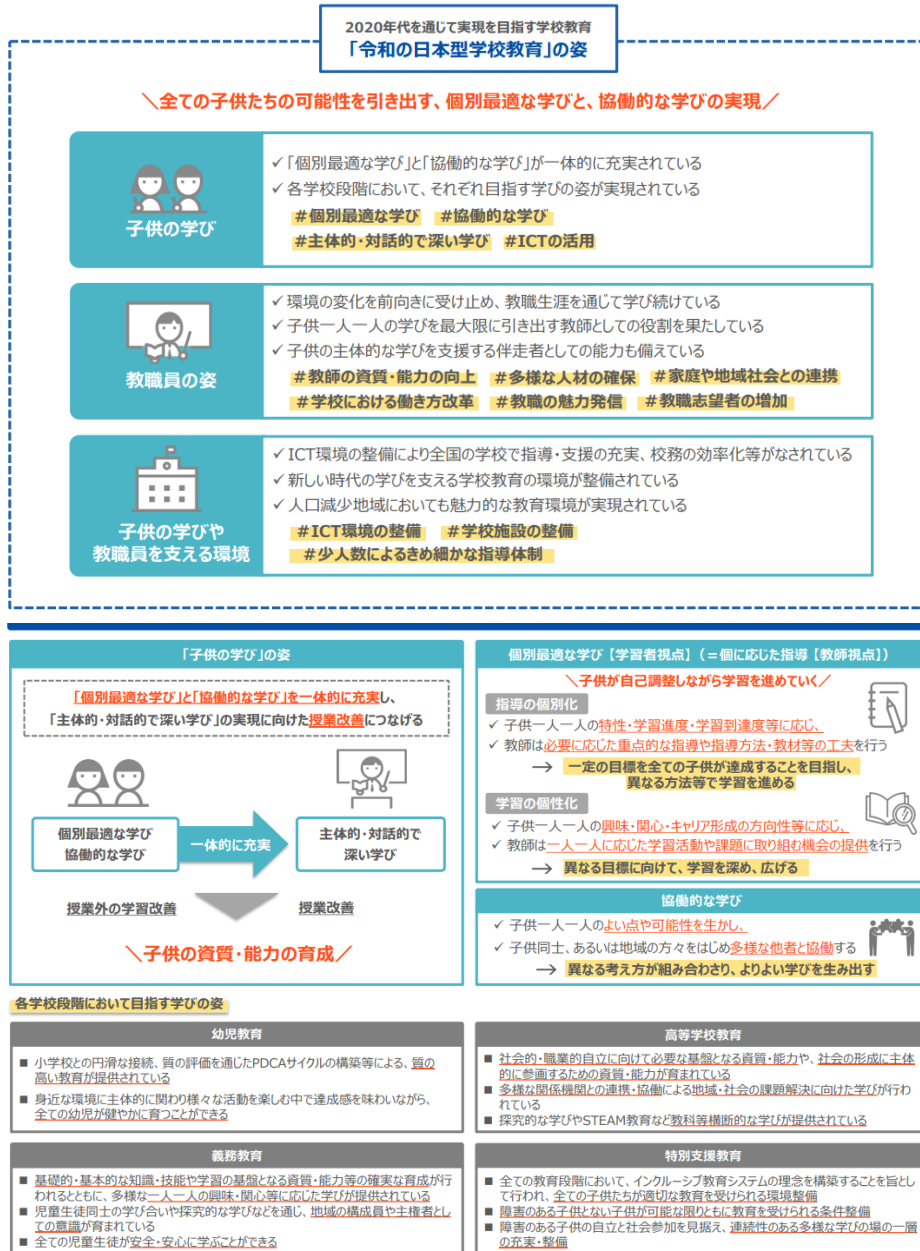


# 第 3 部

## 資料編

## 第 1 部

図表1 令和の日本型学校教育、個別最適な学びと協働的な学び (p. 4)



「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（答申）【総論解説】（文部科学省）より

図表2 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」施策一覧 (p. 5)

柏市が目指す学校教育

1 誰一人取り残さない学校教育の推進

(1) 学びをつなぐ

① 小中一貫教育の推進

- ✓ 市内全校で小中一貫教育を推進義務教育9年間を通して系統性・連続性のある教育活動を実施
- ✓ 小1プロブレムや小中ギャップ、心身発達の早期化に対応

② グローカルな人材の育成

- ✓ 英語教育・国際理解教育の推進
- ✓ 英語力の向上を図るための環境整備
- ✓ 地域と連携した地域学習・持続可能な開発のための教育(ESD)の推進



(2) 子ども主体の学び

① 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

- ✓ 学び続ける力(アウトプット、主体性、多様性を重視した学び)を日常の授業で育成
- ✓ 認知能力(基礎的な知識・技能)、非認知能力(協調性や忍耐力などの社会情緒的スキル)の育成

② 特別支援教育の推進

- ✓ 「誰一人取り残さない」教育の充実
- ✓ インクルーシブ教育システムの構築
- ✓ 教員の専門性及び指導力の向上
- ✓ 一人一人のニーズに応じた就学先の決定



(3) 安全・安心な居場所づくり

① 不登校児童生徒への支援

- ✓ 教育相談体制を整え、不登校児童生徒に対応できる環境を整備し、学びの選択肢(居場所)の確保
- ✓ 子どもたちが安心して自発的に行きたくするような学校づくりの推進

② 教育相談の充実



③ 子どもの居場所

(4) 家庭・地域とともに

① コミュニティ・スクールの活性化

- ✓ 「地域の支援」から「地域との連携・協働」へ
- ✓ 個別の活動の総合化・ネットワーク化
- ✓ 地域と学校のコーディネート機能の充実
- ✓ 社会に開かれた教育課程、地域とともにある学校の実現

② 市立柏高等学校の魅力化



(5) 生き生きと働き学び続ける教職員

① 子どもと向き合う時間の確保

- ✓ 教職員が担う業務の明確化
- ✓ 働きがいのある職場環境づくり
- ✓ 子どもと向き合う時間を確保

② 教職員研修の充実



2 学びを支えるよりよい教育環境づくり

(1) 学びを支える教育環境

① 将来を見据えた学校のあり方

- ✓ 小学校、中学校、義務教育学校について、望ましい学校規模・学校配置及び通学距離に関する基準の設定
- ✓ 一定の集団規模を確保する学校づくりの推進
- ✓ 通学路の安全対策の充実・強化



② 新しい時代の学びを実現する学校施設の整備

- ✓ 新しい学びを可能にする施設整備の推進
- ✓ 快適な生活空間を確保
- ✓ 環境に配慮した施設及び災害に強い施設整備の推進
- ✓ 地域と連携・協働する空間や他の公共施設等との共用化・複合化の検討



③ 安全・安心な学校施設の充実

- ✓ 建設コスト増や人員不足等を踏まえた計画の見直し
- ✓ 優先度を考慮した改修又は建替の実施
- ✓ 教室不足対策の実施

④ 心身の健康を支える給食の提供

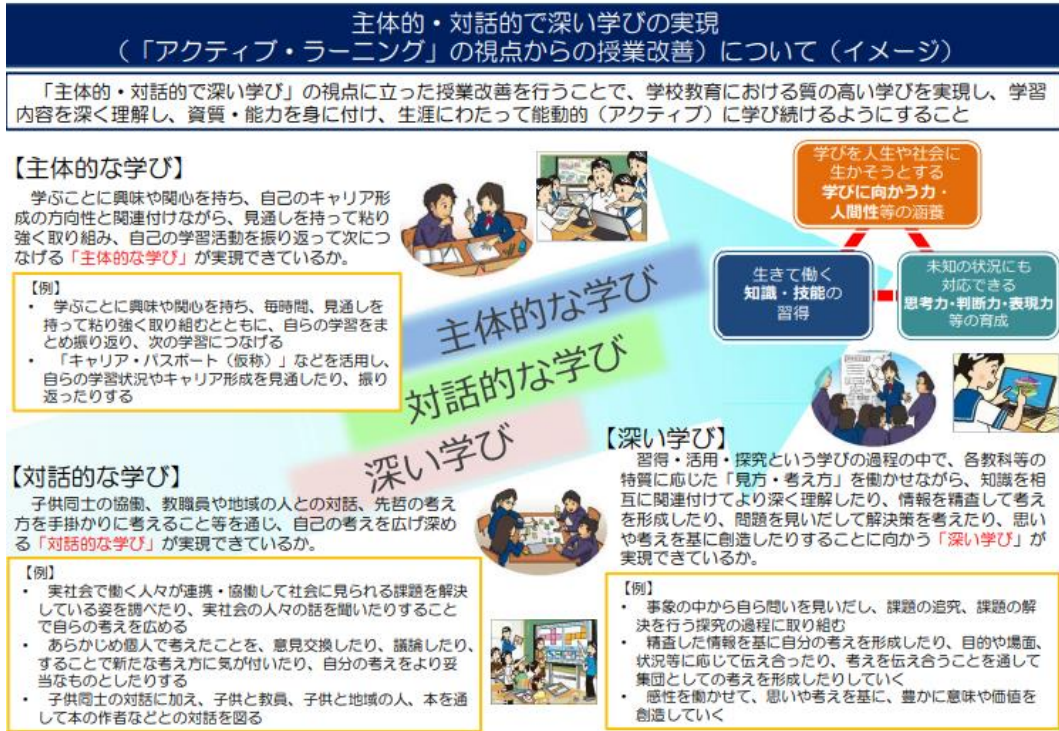
- ✓ 学校給食施設の衛生管理の充実強化
- ✓ 学校給食センターの機能強化
- ✓ 生きる力と豊かな人間性を育む食育の推進



柏市教育委員会作成

基本目標 1 子ども主体の学び

図表 3 主体的・対話的で深い学びのイメージ (p. 23)



文部科学省「小・中学校文部新教育課程説明会資料」より (平成 29 年度)

図表 4 授業時数特例校制度・教育課程特例校制度 (p. 23)



教育課程特例校制度

教育課程特例校とは

文部科学大臣が、学校教育法施行規則第55条の2等に基づき指定する学校において、学校又は地域の実態に照らし、より効果的な教育を実施するための**特別の教育課程を編成すること**を認める制度。 ※予備措置なし

指定の要件

- 学習指導要領等において**全ての児童又は生徒に履修させる内容として定められている内容事項が、特別の教育課程において適切に取り扱われていること。**
- **総授業時数が確保されていること。**
- 児童又は生徒の発達段階並びに各教科等の特性に応じた内容の系統性及び体系性に配慮がなされていること。
- 保護者の経済的負担への配慮その他の義務教育における機会均等の観点から適切な配慮がなされていること。
- 児童又は生徒の転出入に対する配慮等の教育上必要な配慮がなされていること。

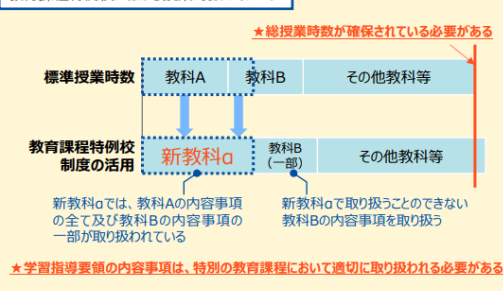
指定の状況（令和7年4月現在）

指定されている管理機関数： 236件  
 指定されている学校数： 1,915校

【主な取組内容】

- 学校や地域の実態に照らした**新教科等の設定**  
 (例) 北海道羅臼町：理科、生活科、総合的な学習の時間等を削減し、新教科「知床学」を設定  
 (例) 信州大学教育学部附属松本小学校：1～2 学年の既存の各教科をすべて統合・再整理し、「ことば」「かがく」「くらし」「ひょうげん」の4つの領域を新設
- 既存教科を英語で実施（イマージョン教育）  
 (例) 私立西大和学園中学校・高等学校：音楽・体育の一部を英語で実施
- 学校段階間の連携による教育  
 (例) 東京都立川市：特別活動や総合的な学習の時間等を削減し設定した新教科「立川市民科」により、小・中学校が連携した学習活動を実施

教育課程特例校における授業時数のイメージ



文部科学省「教育課程特例校制度・授業時数特例校制度」より

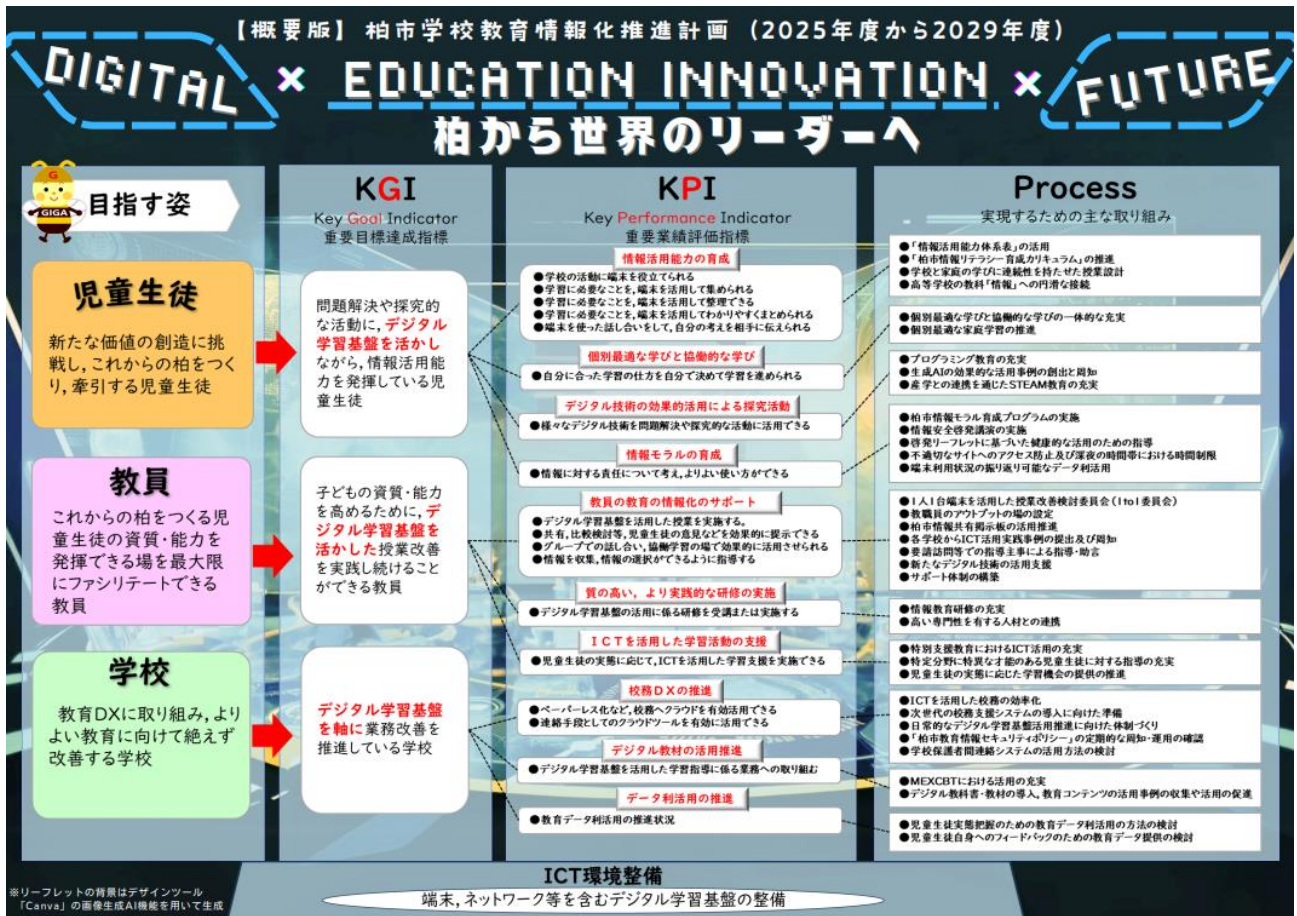
図表5 柏市で育む4つの力（見直し前後での項目の比較）(p.27)

4つの力	重点項目	大切にしたい学びの姿	見直し前の4つの力		
自他と対話する力	自己表現	自分の考えを持ち、相手に伝えようとしている。	友達に自分の考え・意見を説明することができる。	伝える力 ③	←
	傾聴	相手の気持ちや考えを遮らずに最後まで聴こうとしている。	話し合い活動の際に、他人の意見を最後まで聞くことができる。	傾聴 ③	
	協働	目標達成や課題解決に向けて、自他の良さや可能性を生かしながら一緒に取り組んでいる。	自分だけでは解決できない問題について、友達や先生の助けを求めて、一緒に取り組むことができる。	協働 ③	
自他を大切にす力	相談	困っていることがあるとき、抱え込まずに周囲に支援を求めている。	悩んでいることや心配していることを、先生、友達、保護者などに相談することができる。	相談する力 ③	←
	認め合い	自分と相手の気持ちや考えを大切にしながら周囲と関わり合っている。	自分の長所・短所を含め、自分自身を認めることができる。	自己肯定感 ④	
	思いやり	相手の気持ちや考えを想像して、思いやりを持って行動している。	ルールが必要となる理由や、なぜ守らなければいけないかを考えることができる。	規範意識 ④	
学び続ける力	見直し	目標達成や課題解決のための見直しや方法を考えている。	誰に対しても、温かい心で接することができる。	思いやり ③	←
	粘り強さ	失敗を恐れずに様々な方法を試しながら粘り強く取り組んでいる。	自分が相手の立場だったら、どう思うかと想像することができる。	相手の立場に立って考える力 ③	
	振り返り	活動したことについて振り返り、目標達成や課題解決に向けての気付きを得ている。	物事に取り組むときに、計画を立てることができる。	計画 ①	
よりよくしようと挑戦する力	粘り強さ	失敗を恐れずに様々な方法を試しながら粘り強く取り組んでいる。	諦めずに粘り強く取り組むことができる。	粘り強さ ②	←
	振り返り	活動したことについて振り返り、目標達成や課題解決に向けての気付きを得ている。	分らなかったことを友達や先生に聞いたり、調べたりすることができる。	分かる努力 ①	
	好奇心・探究心	新しいことを知ったり体験したりすることに喜びを感じながら学んでいる。	夢や目標に向かって、近づくための努力をすることができる。	目標への努力 ②	
よりよくしようと挑戦する力	主体性	目的や目標を明確にして、達成に向けて自ら考えて行動している。	失敗を恐れずに挑戦することができる。	挑戦 ②	←
	活用	学んだことを活用し、日常生活や地域社会がより良くなるように考えながら行動している。	学んだ結果、よく分かったこと、あまり分らなかったことを整理することができる。	振り返り ①	
	活用	学んだことを活用し、日常生活や地域社会がより良くなるように考えながら行動している。	物事に取り組んだ時に、どうすればもっと良くできるか考えることができる。	改善 ①	
よりよくしようと挑戦する力	主体性	目的や目標を明確にして、達成に向けて自ら考えて行動している。	将来の夢や目標を持つことができる。	夢・目標 ①	←
	活用	学んだことを活用し、日常生活や地域社会がより良くなるように考えながら行動している。	課題に自ら取り組むことができる。	主体性 ④	
	活用	学んだことを活用し、日常生活や地域社会がより良くなるように考えながら行動している。	自分が学んだことを、自分が住んでいる地域や社会の問題解決に役立てようとするすることができる。	地域との関わり ③	

※見直し後の項目に合わせて、並び替えて表示（①～④は見直し前の4つの力と見出しの関連）

柏市教育委員会作成

図表6 柏市学校教育情報化推進計画 (p.28)



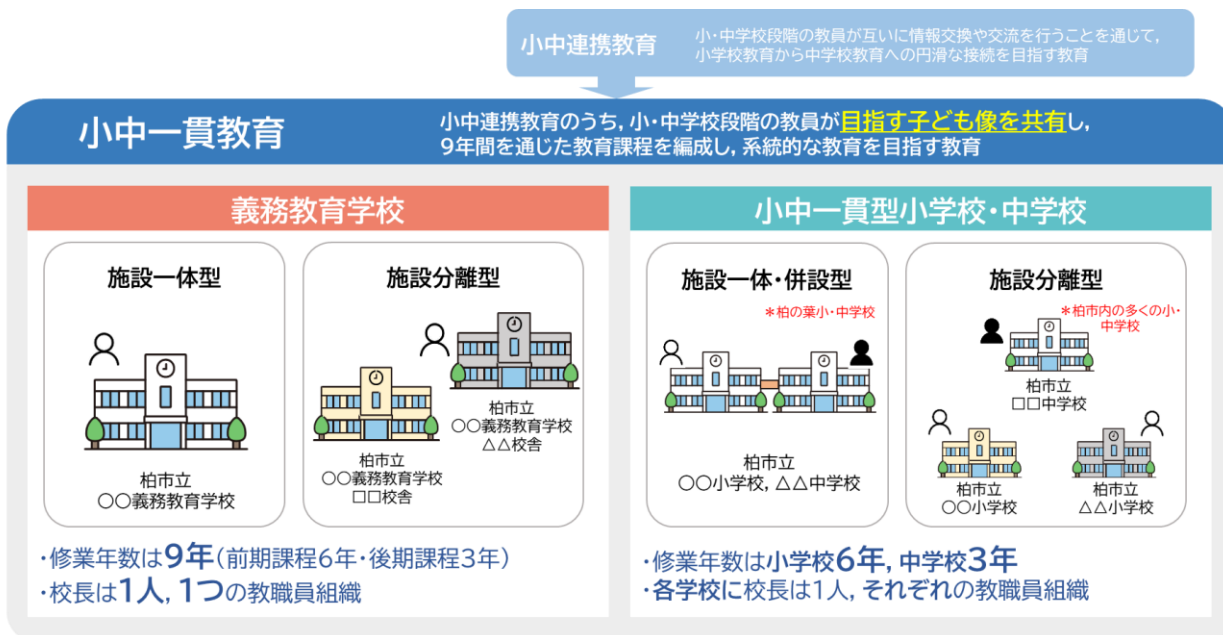
図表7 各試験団体のデータによるCEFRとの対照表 (p.31)

CEFR	Cambridge English	英検	GTEC CBT	GTEC FOR STUDENTS	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEFL Junior Comprehensive	TOEIC / TOEIC S&W
C2	CPE (200+)				8.5-9.0					
C1	CAE (180-199)	1級 (2630-3400)	1400		7.0-8.0	400	800	95-120		1305-1390 L&R 945~ S&W 360~
B2	FCE (160-179)	準1級 (2304-3000)	1250-1399	980 L&R&W 810	5.5-6.5	334-399	600-795	72-94	341-352	1095-1300 L&R 785~ S&W 310~
B1	PET (140-159)	2級 (1980-2600)	1000-1249	815-979 L&R&W 675-809	4.0-5.0	226-333	420-595	42-71	322-340	790-1090 L&R 550~ S&W 240~
A2	KET (120-139)	準2級 (1284-1800)	700-999	565-814 L&R&W 485-674	3.0	150-225	235-415		300-321	385-785 L&R 225~ S&W 160~
A1		3級-5級 (419-1650)	-699	-564 L&R&W -484	2.0					200-380 L&R 120~ S&W 80~

文部科学省「各試験団体のデータによるCEFRとの対照表」より

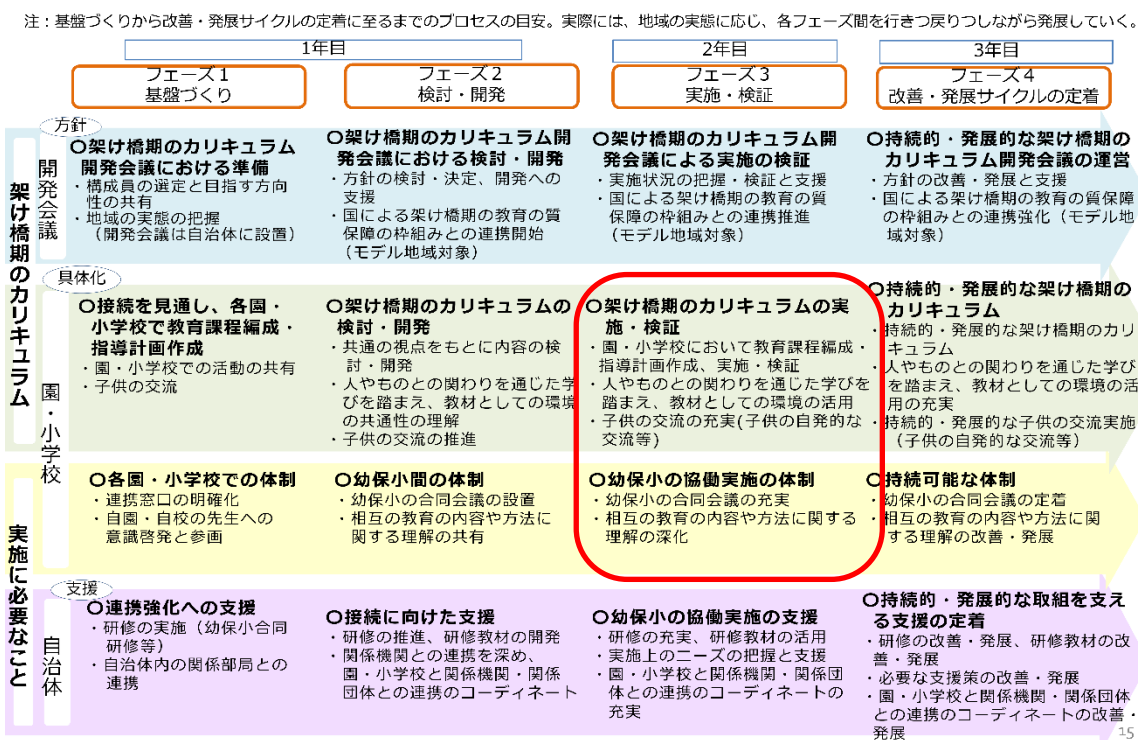
基本目標2 連続性のある学びの実現

図表8 小中一貫教育の制度 (p. 33)



文部科学省「小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引」(平成28年)及び兵庫県教育委員会「小中一貫教育リーフレット」(平成28年)を参考に柏市教育委員会で作成

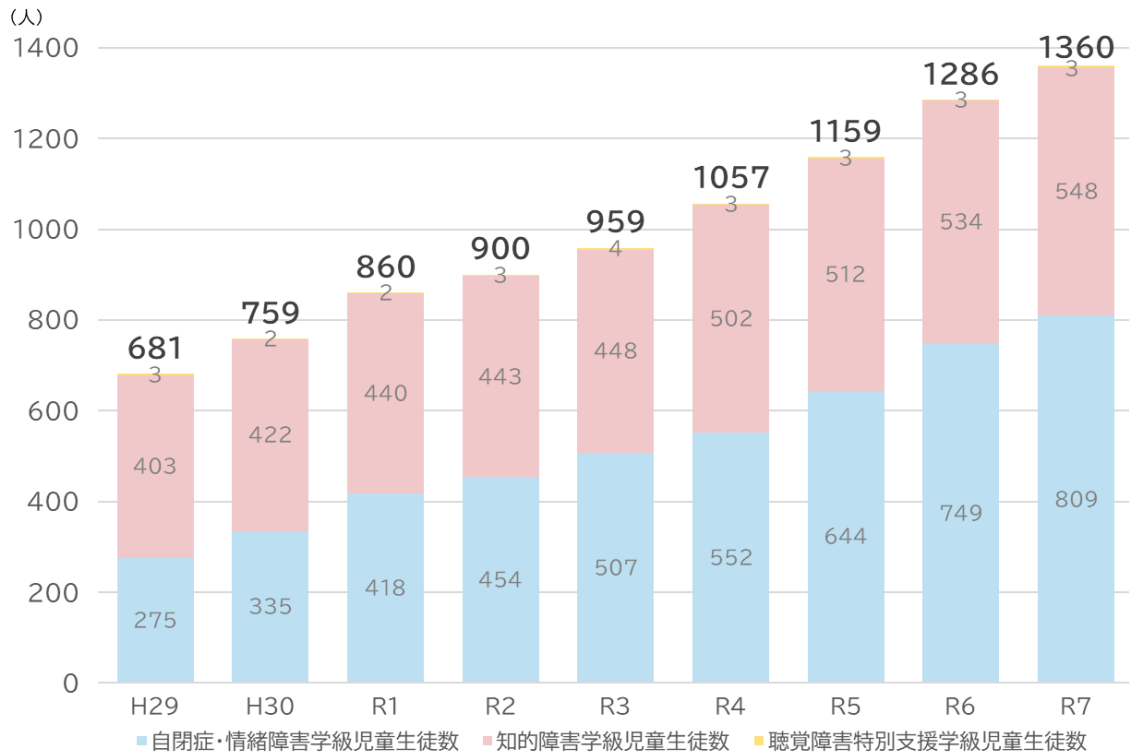
図表9 幼保こ小連携の進め方のイメージ (p. 36) ※柏市内の園と小学校でフェーズ3の枠組みの部分を目指す



文部科学省「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き(初版)」より

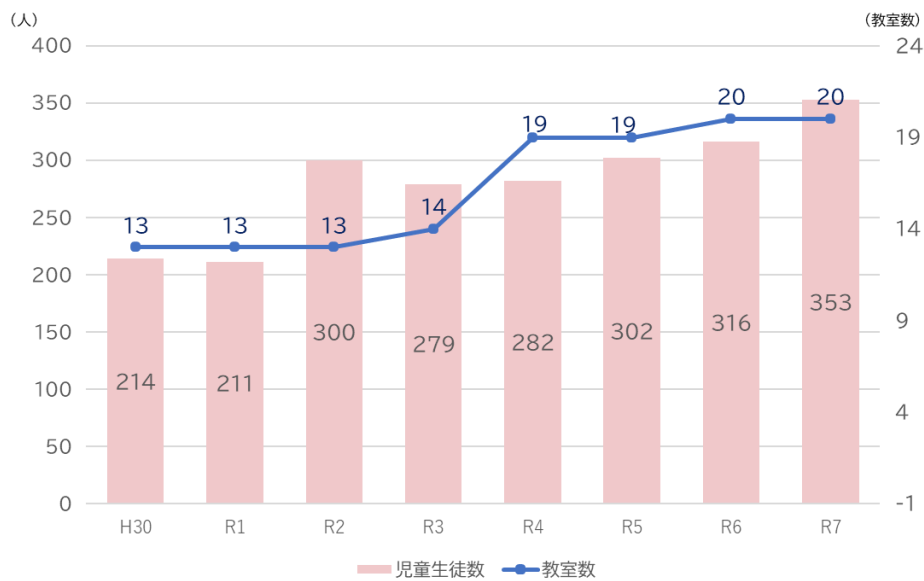
### 基本目標3 多様な教育ニーズへの対応

図表10 特別支援学級在籍児童生徒数の推移 (p. 38)



柏市教育委員会作成

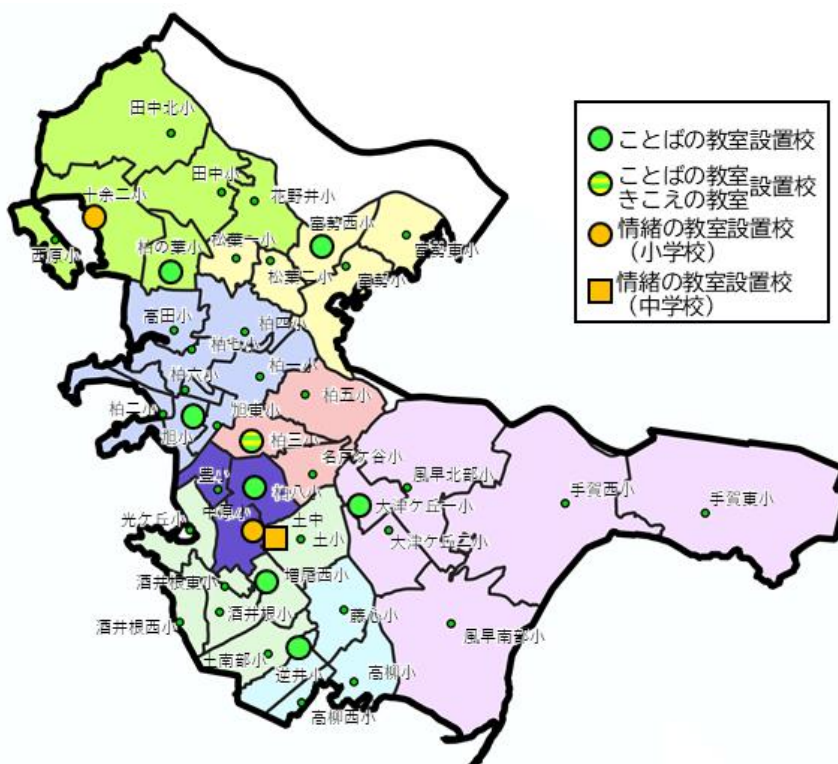
図表11 通級指導教室数と児童生徒数の推移 (p. 38)



柏市教育委員会作成

図表 12 通級指導教室の実施状況 (p. 38)

設置教室	対象と指導内容	設置校 (R6年度)
きこえの教室 (小学生対象)	難聴のある児童を対象とし、きこえにくさから生じる困難を軽減し、学校生活における学習や諸活動に参加していくことを目指した指導・支援を行う。(週1時間程度)	柏第三小
ことばの教室 (小学生対象)	発音が明瞭でなかったり、話し言葉を繰り返したり、伸ばしたりするなど、ことばによるコミュニケーションが苦手という児童を対象とし、課題の改善を目指した指導・支援を行う。(週1時間程度)	柏第三小、柏第八小、旭小、増尾西小、逆井小、富勢西小、大津ヶ丘第一小、柏の葉小
情緒の教室	通常の学級の学習におおむね参加することができ、一部分特別な指導を必要とする児童生徒を対象とし、気持ちのコントロールのしづらさから生じる困難を解決し、在籍学級での学習や活動に参加していくことを目指した指導・支援を行う。(週1～2時間程度)	中原小、十余二小、土中



【ことばの教室の設置校および在籍校 (R7年度)】

設置校	在籍校		
柏三小	柏三小	柏五小	名戸ヶ谷小
柏八小	柏八小	中原小	豊小
旭小	旭小	柏一小	柏二小
	柏四小	柏六小	柏七小
高田小	高田小	旭東小	
	増尾西小	光ヶ丘小	土小
土南部小	土南部小	酒井根小	酒井根西小
	酒井根東小		
逆井小	逆井小	藤心小	高柳小
	高柳西小		
富勢西小	富勢西小	富勢小	富勢東小
	松葉一小	松葉二小	
大津ヶ丘一小	大津ヶ丘一小	風早南部小	風早北部小
	手賀西小	手賀東小	大津ヶ丘二小
柏の葉小	柏の葉小	田中小	田中北小
	西原小	花野井小	十余二小

【きこえの教室設置校 (R7年度)】

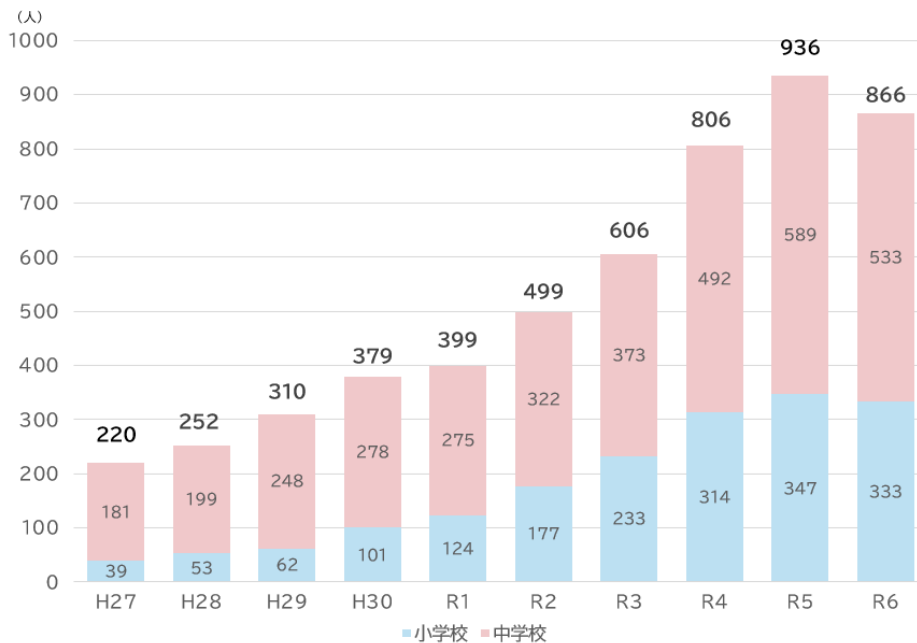
設置校	在籍校
柏三小	柏市全域の小学校から通級できます

【情緒の教室設置校 (R7年度)】

設置校		
小学校	中原小	十余二小
中学校	土中	—

※この他、特別支援学校における通級による指導(視覚障害、聴覚障害、肢体不自由)がある。

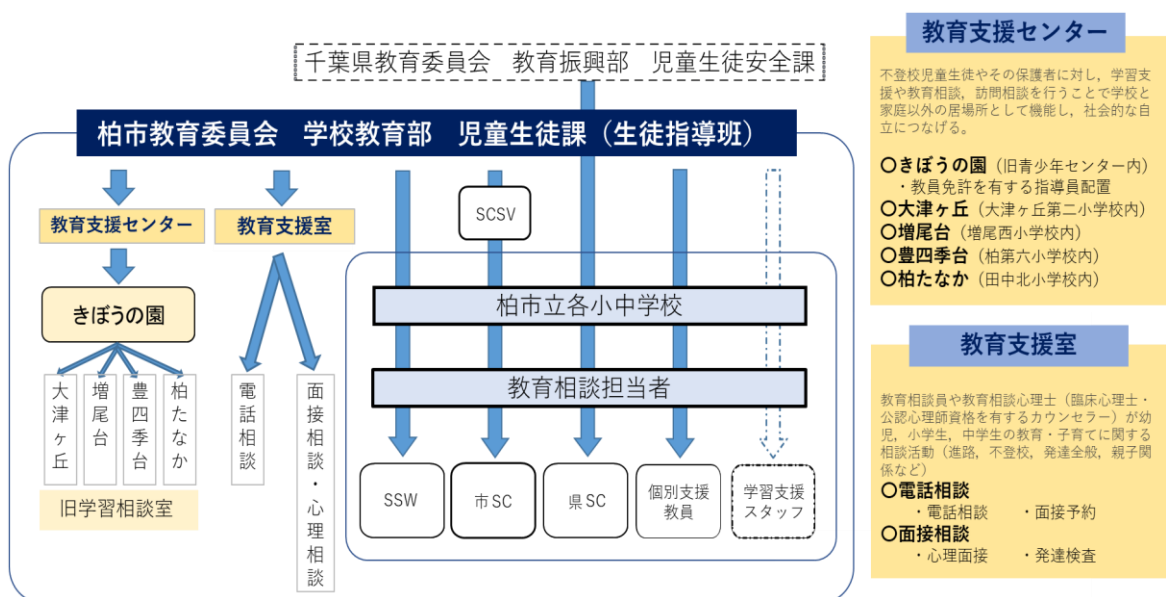
図表 13 柏市における不登校児童生徒数の推移 (p. 40)



柏市教育委員会作成

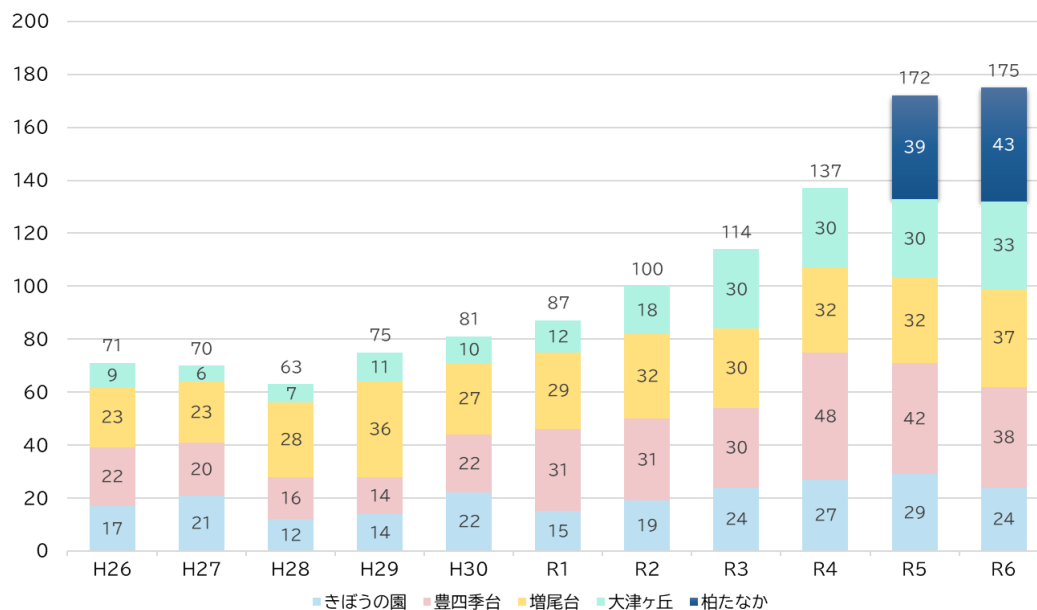
文部科学省において、不登校とは「長期欠席者（年度間に 30 日以上登校しなかった児童生徒）のうち、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にある者（ただし、「病気」や「経済的理由」、「新型コロナウイルスの感染回避」による者を除く。）」とされています。

図表 14 柏市の教育相談体制 (p. 41)



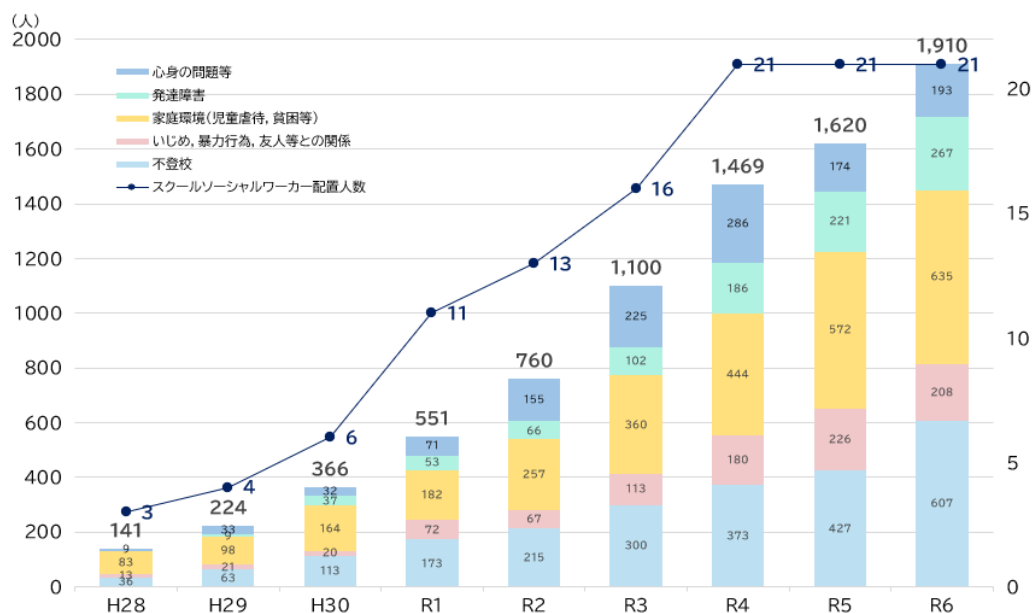
柏市教育委員会作成

図表 15 教育支援センター利用者数推移（旧適応指導教室・学習相談室）（p. 41）



柏市教育委員会作成

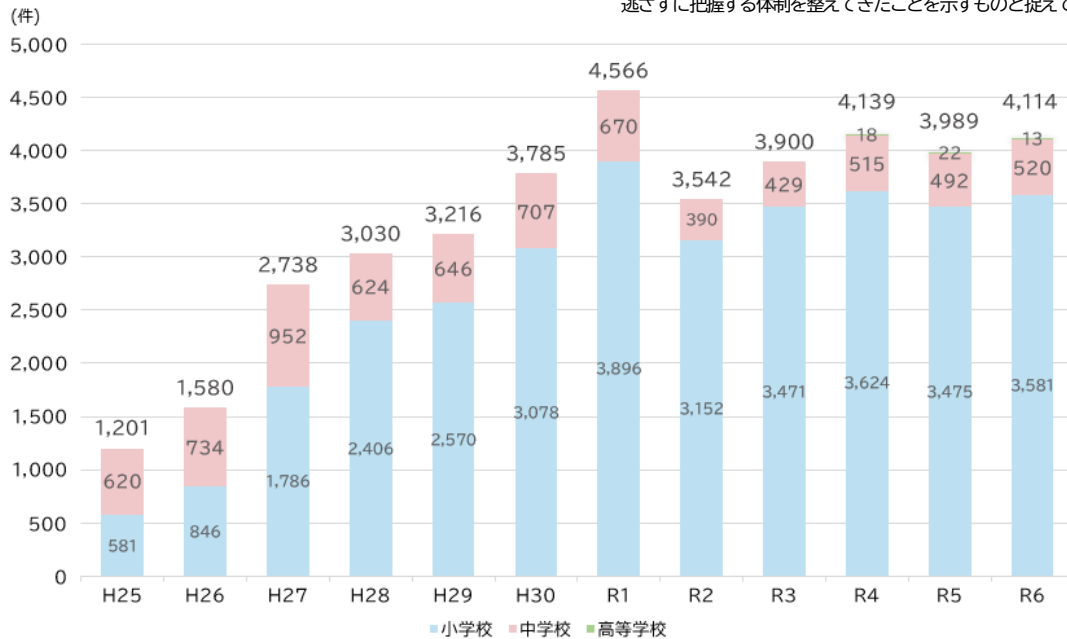
図表 16 スクールソーシャルワーカーへの相談件数の推移（p. 41）



柏市教育委員会作成

図表 17 柏市内小・中学校のいじめの認知件数 (p. 42)

文部科学省は、認知件数が多い学校ほど教職員が子どもの変化に気づきやすい環境にあるとしています。認知件数の増加は、いじめの増加ではなく、学校が見逃さずに把握する体制を整えてきたことを示すものと捉えています。



柏市教育委員会作成

図表 18 生徒指導の諸課題の未然防止・早期発見のためのデジタルコンテンツ (p. 43)

### 報告・相談プラットフォーム「STANDBY」

児童生徒がいじめ等で悩んでいるときに、スマートフォンやタブレットの「STANDBY」アプリから、自治体や学校が設けた専門の相談員に匿名で報告・相談できるもの。いじめ等の問題について、早期発見・早期対応ができる。

【令和5年度実績】

- ・ 300件を超える相談、2,000件を超えるチャット数
- ・ 令和6年度より、相談業務の委託を実施

出典: スタンドバイ株式会社ホームページより

### こころとからだのWEB健康観察・アンケートアプリ「シャボテンログ」

シャボテンログは、児童生徒が毎日または定期的なアンケートに回答することで、子どもが自身の自己管理能力を高めることや、学校が子どもの不調を予見することを目指したもの。文部科学省でも推進されており、実施校は年々増加している。導入については、趣旨について学校長から賛同を得た学校から実施している。

← 児童生徒の回答画面

#### 2年2組のダッシュボード

2022年6月23日 (木)

注目	出欠確認	心	体	話	遅夕	遅朝	なぜ	だる	怠惰	他	備考	寝た時間	起きた時間
1番 シャボテン 1	<input type="checkbox"/>												
2番 シャボテン 2	<input type="checkbox"/>												
3番 シャボテン 3	<input type="checkbox"/>												
4番 シャボテン 4	<input type="checkbox"/>												
5番 シャボテン 5	<input type="checkbox"/>												

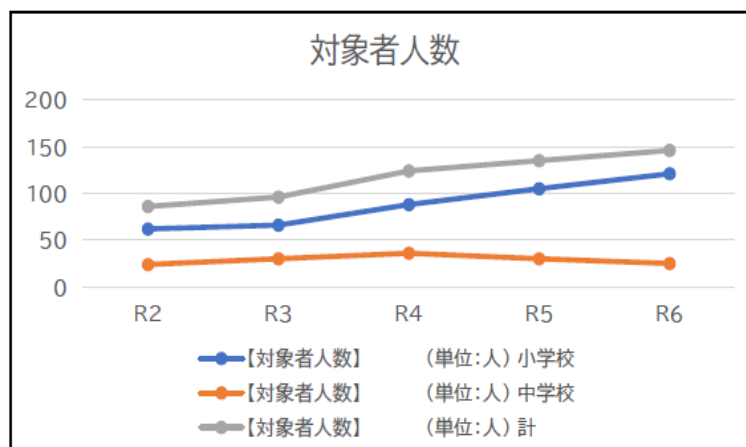
← 教師用管理画面

出典: 経済産業省「未来の教室～learning innovation～」より

図表 19 日本語指導要請の推移 (p. 45)

【対象者人数】 (単位:人)

	小学校	中学校	計
R 2	62	24	86
R 3	66	30	96
R 4	88	36	124
R 5	105	30	135
R 6	121	25	146



柏市教育委員会作成

## 基本目標4 学びを支える教育環境の構築

図表 20 在校等時間 45 時間超の割合（令和7年度と令和6年度の比較）（p.47）

対象年月	対象月	45時間超の割合 ※管理職を除く	
		小学校教員等	中学校教員等
令和6年度	11月	32.1%	44.5%
令和7年度	11月	18.4%	32.2%
前年度比		-13.7%	-12.3%

柏市教育委員会作成

在校等時間 45 時間超の割合（国・県・市の令和6年度年間平均）

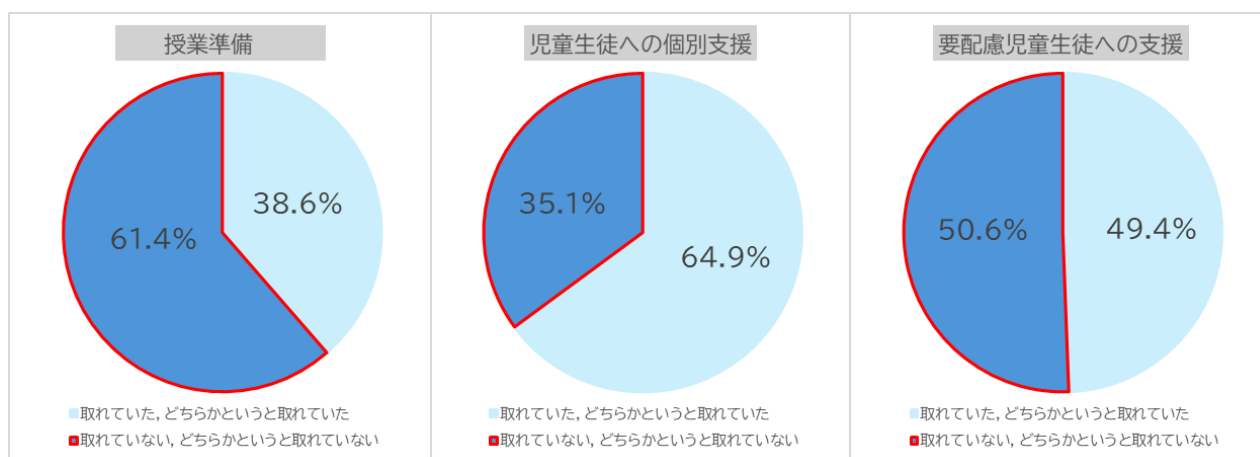
対象	45時間超の割合 ※管理職を除く	
	小学校教員等	中学校教員等
国平均	24.8%	42.5%
県平均	35.1%	46.0%
市平均	28.0%	40.0%

出典：国平均：令和6年度「教育委員会における学校の働き方  
改革のための取組状況調査」

県平均：令和6年度「教職員の出退勤時刻実態調査」

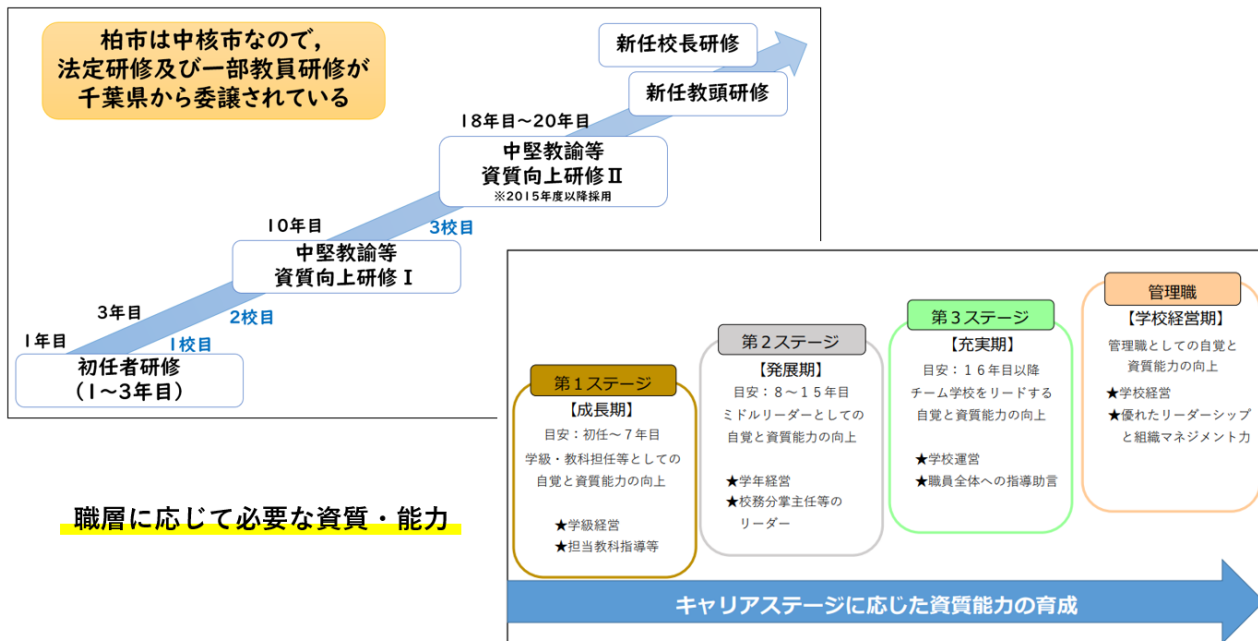
市平均：令和6年度「年間時間外在校等時間調査」

図表 21 教職員の子どもに向き合う時間（p.47）

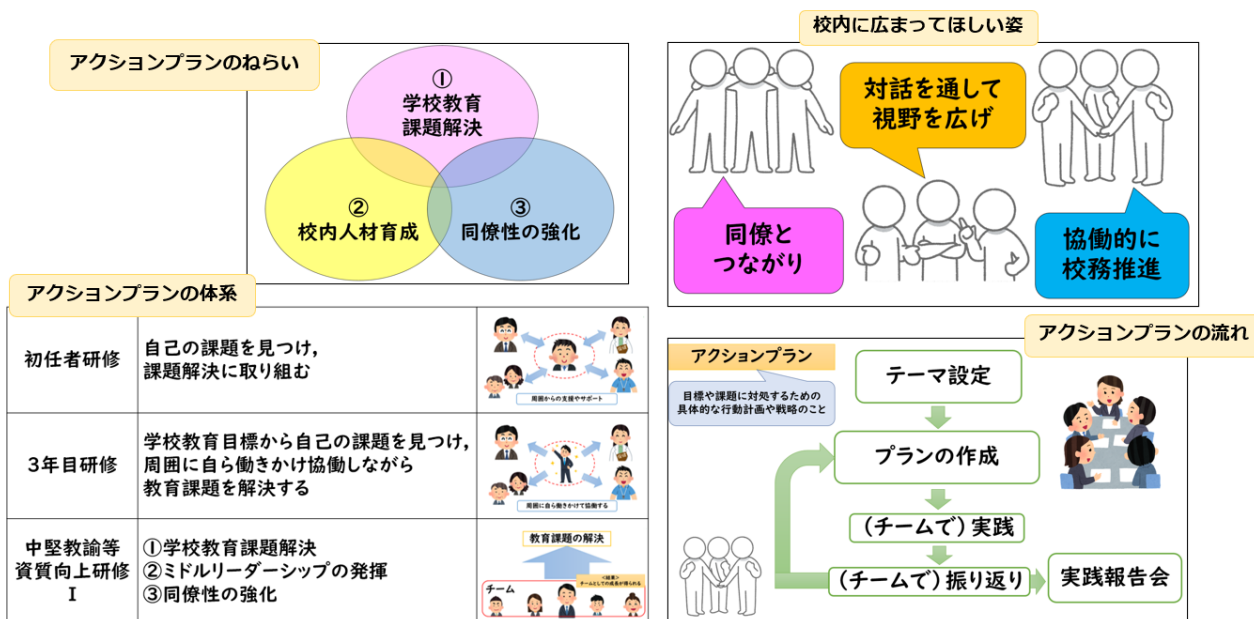


柏市教育委員会作成

図表 22 学び続ける教職員を支える研修 (p. 49)

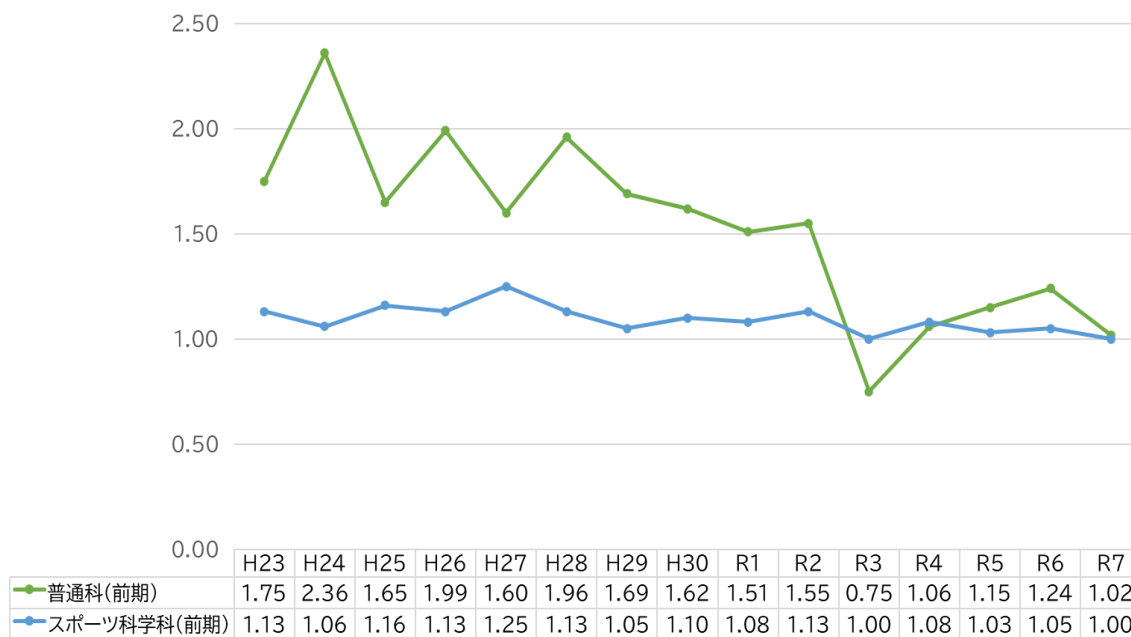


アクションプラン実践研修



柏市教育委員会作成

図表 23 市立柏高等学校の入学選抜志願者の状況（推移）（p. 51）



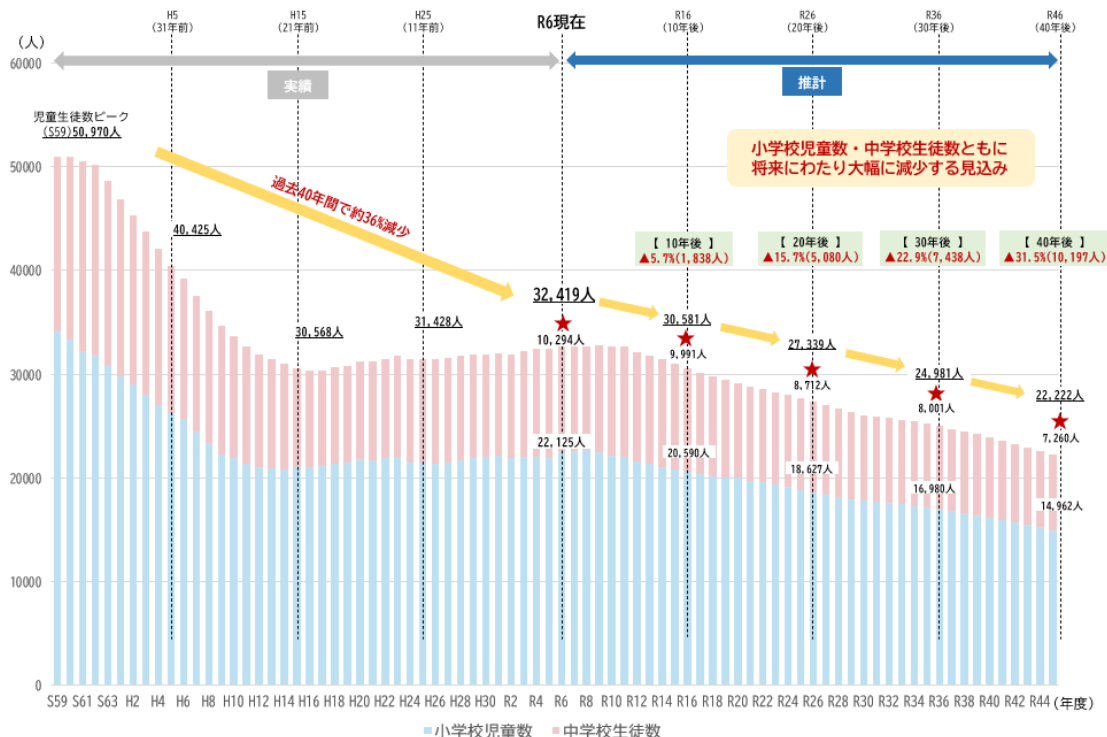
柏市教育委員会作成

図表 24 市立学校施設の概要 (p. 54)

	名称	住所	20地域	延床面積 (㎡)	建築年度		築後 年数	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	
					西暦	和暦			普通 学級	特別 支援
小学校	1 柏第一小学校	あけぼの1-7-6	柏中央	6,149	1963	S38	62	604	19	5
	2 柏第二小学校	豊四季310	新富	5,497	1965	S40	60	432	15	5
	3 柏第三小学校	若葉町4-54	富里	9,411	1965	S40	60	1,063	32	9
	4 柏第四小学校	松ヶ崎1182-9	高田・松ヶ崎	6,092	1969	S44	56	634	20	3
	5 柏第五小学校	柏932-7	柏中央	7,030	1968	S43	57	896	27	5
	6 柏第六小学校	豊四季台4-2-1	豊四季台	5,192	1963	S38	62	522	18	4
	7 光ヶ丘小学校	流山市向小金4-20-1	光ヶ丘	6,261	1966	S41	59	894	28	5
	8 土小学校	増尾4-4-1	増尾	5,273	1966	S41	59	440	14	4
	9 富勢小学校	布施925-1	富勢	5,592	1965	S40	60	598	19	6
	10 田中小学校	大室1193-3	田中	10,770	1971	S46	54	916	27	6
	11 田中北小学校	大青田1536-1	田中	14,970	2022	R4	3	1,198	36	7
	12 土南部小学校	新逆井1-10-1	南部	5,556	1969	S44	56	504	17	4
	13 柏第七小学校	篠籠田723-1	豊四季台	6,104	1970	S45	55	883	27	4
	14 柏第八小学校	永楽台2-8-1	永楽台	5,663	1971	S46	54	521	18	5
	15 酒井根小学校	酒井根19-2	酒井根	5,592	1971	S46	54	582	19	5
	16 西原小学校	西原4-17-1	西原	6,430	1972	S47	53	589	19	5
	17 旭小学校	旭町6-5-17	旭町	5,560	1973	S48	52	545	18	4
	18 藤心小学校	藤心880-1	藤心	4,424	1974	S49	51	254	9	3
	19 中原小学校	中原1821-1	増尾	6,196	1975	S50	50	655	21	4
	20 酒井根西小学校	酒井根662-1	酒井根	5,024	1976	S51	49	228	8	2
	21 高田小学校	高田376-3	高田・松ヶ崎	5,094	1977	S52	48	455	16	4
	22 名戸ヶ谷小学校	名戸ヶ谷474-1	増尾	4,903	1976	S51	49	422	14	4
	23 増尾西小学校	増尾台3-5-9	増尾	6,137	1978	S53	47	566	19	3
	24 逆井小学校	逆井452-2	南部	5,870	1978	S53	47	270	11	2
	25 富勢東小学校	布施2176-2	富勢	5,075	1979	S54	46	100	6	1
	26 豊小学校	豊四季610-2	富里	5,048	1980	S55	45	489	18	4
	27 酒井根東小学校	酒井根1-2-1	酒井根	5,285	1981	S56	44	383	13	3
	28 旭東小学校	旭町5-3-9	旭町	4,128	1981	S56	44	314	12	3
	29 松葉第一小学校	松葉町5-3	松葉	6,086	1981	S56	44	665	20	5
	30 花野井小学校	花野井1652-34	田中	5,703	1982	S57	43	304	12	3
	31 松葉第二小学校	松葉町2-16	松葉	5,852	1982	S57	43	592	19	6
	32 富勢西小学校	布施84-2	富勢	5,432	1983	S58	42	167	7	3
	33 十余二小学校	柏の葉4-4-1	田中	5,463	1987	S62	38	547	18	4
	34 風早南部小学校	藤ヶ谷新田111-2	風早南部	5,513	2010	H22	15	241	10	2
	35 風早北部小学校	大井1854-1	風早北部	5,967	1969	S44	56	649	21	7
	36 手賀西小学校	泉541	手賀	2,792	1972	S47	53	92	6	2
	37 手賀東小学校	手賀479-7	手賀	3,026	1984	S59	41	72	6	1
	38 高柳小学校	高南台3-14-12	風早南部	5,847	1972	S47	53	660	22	4
	39 大津ヶ丘第一小学校	大津ヶ丘3-50	風早北部	5,644	1978	S53	47	308	12	3
	40 大津ヶ丘第二小学校	大津ヶ丘4-8	風早北部	4,515	1978	S53	47	307	12	3
	41 高柳西小学校	しいの木台3-2	風早南部	4,605	1980	S55	45	244	10	3
	42 柏の葉小学校	十余二348-51	田中	13,980	2012	H24	13	1,347	41	5
小学校42校 計				254,751				22,152	736	170
中学校	1 柏中学校	明原4-1-1	豊四季台	13,405	2001	H13	24	496	13	3
	2 柏第二中学校	弥生町6-6	新田原	7,953	1970	S45	55	814	22	3
	3 土中学校	増尾1-23-1	増尾	5,946	1966	S41	59	228	7	1
	4 富勢中学校	根戸467-1	富勢	7,230	1966	S41	59	479	14	4
	5 田中中学校	大室249-9	田中	6,780	1970	S45	55	652	18	4
	6 光ヶ丘中学校	光ヶ丘4-23-1	光ヶ丘	6,670	1968	S43	57	555	15	3
	7 柏第三中学校	篠籠田987-1	豊四季台	7,423	1972	S47	53	546	15	3
	8 柏第四中学校	名戸ヶ谷1-6-8	永楽台	6,237	1973	S48	52	415	12	4
	9 南部中学校	南増尾6-16-1	南部	6,212	1974	S49	51	249	8	2
	10 柏第五中学校	高田919-1	高田・松ヶ崎	6,695	1977	S52	48	544	16	2
	11 酒井根中学校	酒井根1-3-1	酒井根	7,599	1978	S53	47	653	18	4
	12 西原中学校	西原6-13-1	西原	6,889	1979	S54	46	519	14	2
	13 逆井中学校	逆井555	藤心	7,184	1981	S56	44	613	16	5
	14 松葉中学校	松葉町3-14	松葉	7,268	1981	S56	44	660	18	4
	15 中原中学校	中原1816-2	増尾	6,457	1986	S61	39	401	12	4
	16 豊四季中学校	豊四季287-7	新富	7,050	1990	H2	35	473	13	3
	17 風早中学校	塚崎1319	風早北部	5,768	1967	S42	58	307	10	2
	18 手賀中学校	柳戸690	手賀	3,880	1968	S43	57	80	3	2
	19 大津ヶ丘中学校	大津ヶ丘1-25	風早北部	7,128	1978	S53	47	533	16	3
	20 高柳中学校	高南台1-1-1	風早南部	6,646	1981	S56	44	519	15	3
	21 柏の葉中学校	柏市十余二337-93	田中	8,866	2018	H30	7	403	13	2
中学校21校 計				149,286				10,139	288	63
1 柏高等学校	船戸山高野325-1	田中	19,985	1977	S52	48	938	29	-	
高等学校1校 計				19,985				966	29	-
学校施設64校 合計				424,022				33,257	1,053	233

柏市教育委員会作成

図表 25 児童生徒数の長期推計（令和 6 年度版）（p. 56）



柏市教育委員会作成

柏市の児童生徒数は、昭和 59 年度の 50,970 人をピークに減少しており、令和 6 年度は 32,419 人となっています（令和 7 年度は 32,291 人で、ピーク時から約 36.6%減少）。今後も減少傾向であり、約 40 年後の令和 46 年度には現在の約 7 割の 22,222 人まで減少する予測となっています。

地域ごとにみると、児童生徒数の変化は中学校区ごとに異なり、市北部の田中中学校区（田中中、田中小、田中北小、花野井小）・柏の葉中学校区（柏の葉中、柏の葉小）や柏駅の徒歩圏内にあたる柏中学校区（柏中、柏第一小、旭東小）・柏第三中学校区（柏第三中、柏第六小、柏第七小）等では増加する見込みとなっています。一方で、南部及び沼南地域では、今後、全エリアで減少する見込みとなっています。

図表 26 柏市としての望ましい学校規模・通学距離（p. 56、57）

【望ましい学校規模】

- ✓ 小学校：1 学年当たり 3 学級から 4 学級（1 校当たり 18 学級から 24 学級）
- ✓ 中学校：1 学年当たり 4 学級から 6 学級（1 校当たり 12 学級から 18 学級）
- ✓ 義務教育学校（前期）1 学年当たり 3 学級から 4 学級  
（後期）1 学年当たり 4 学級から 6 学級（1 校当たり 30 学級から 42 学級）

【望ましい通学距離】

- ✓ 小学校：2 km 以内      中学校：6 km 以内

※ 小学生の通学距離と時間に関する調査結果や、保護者へのアンケート結果を踏まえ設定。

※ 保護者へのアンケート結果や、自転車通学の運用状況を踏まえ設定。中学校では、学校ごとに定める一定の通学距離を超える生徒で、自転車通学を希望する場合には、保護者の責任のもとで、各学校・地域の道路状況等を踏まえ、各校長が自転車通学について判断・許可。

「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」より

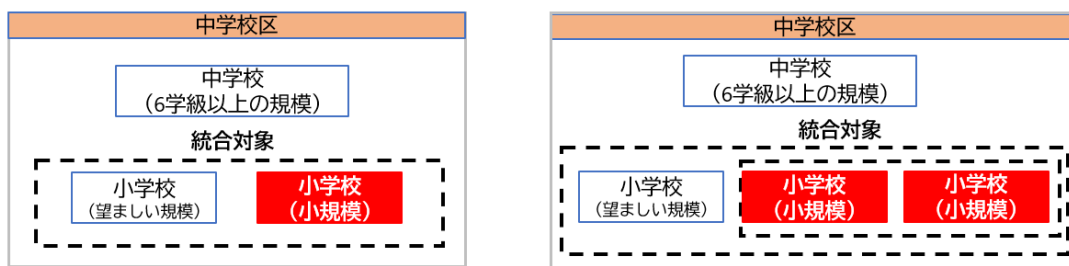
## ■ 小規模校 小学校：17 学級以下 中学校：11 学級以下

一定の集団規模を確保するため、以下のいずれかの方法を基本に検討を進めます。

地域や学校の実情等を踏まえ、小規模校として引き続き存続することが適当と判断する場合には、小規模校での課題に対する教育施策の充実を検討します。

### A：小学校同士の統合

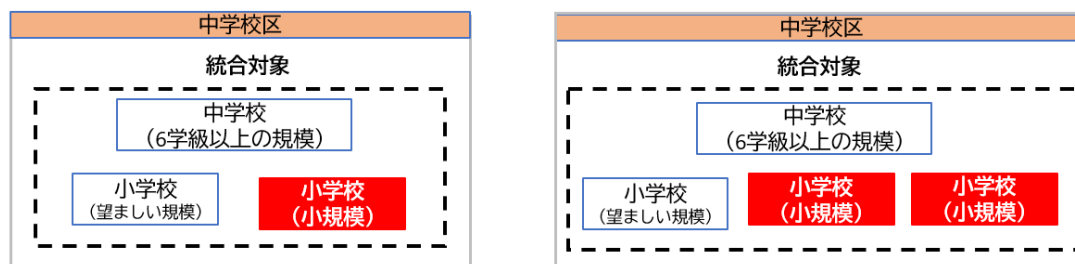
・クラス替えができない学年が存在しており、将来にわたっても推計上改善される見込みがない小学校について、同一中学校区内の小学校との統合を検討する



※ 地域の実情や施設の状況等を踏まえ、通学区域の調整や中学校を含めた統合による義務教育学校の設置について、柔軟かつ慎重に検討する

### B：施設一体型の義務教育学校の設置

・クラス替えができない学年が存在しており、将来にわたっても推計上改善される見込みがない小学校または中学校があり、かつ、通学区域や学校の立地等を総合的に勘案し、義務教育学校の設置が適当と判断される場合において、同一中学校区内の小学校と中学校を統合した義務教育学校の設置を検討する



### C：通学区域の再編

・将来にわたるエリアごとの児童生徒数をもとに、学校の配置や数は変えず、小規模校と当該校に隣接する学校の通学区域を再編する

・通学区域の再編に当たっては、地域コミュニティとの整合を十分に考慮する

## ■ 大規模校 小学校：25 学級以上 中学校：19 学級以上

円滑な学校運営や子どもたちへのきめ細やかな支援を図るため、将来にわたる児童生徒数等も勘案し、以下の方策を基本とし、学校及び地域の実情に即した最適な方策を検討します。

《方策》・必要な学校敷地及び教室等の学校施設の確保

・必要な教職員の配置

・学区外就学の制限

※上記対応が困難な場合には、校舎等の増築、通学区域の変更、学校の分離新設等の対応を検討します。

図表 27 学校給食基本方針 (p.58)

<p><b>学校給食の目標</b> <b>安全・安心でおいしい給食を将来にわたり提供し、子どもの健やかな成長につなげる</b></p> <p><b>方針1 安全・安心な給食を提供する</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・異物混入や食中毒等の発生を防止するため、学校給食衛生管理基準に適合した施設や設備を整備し、HACCP (※1) の概念に基づき、衛生管理を徹底した環境で調理します。また、調理員が安心して仕事しやすい環境で作業することが安全・安心な給食につながるため、作業効率や安全性等を向上させた働きやすい調理場を目指します。</li></ul> <p><b>方針2 栄養バランスのとれたおいしい給食を提供する</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校給食は、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達や健康の保持増進、正しい食習慣の形成に大きな役割を果たします。このため、栄養のバランスだけでなく、調理方法の工夫によりおいしい給食を提供します。</li></ul> <p><b>方針3 食物アレルギーに対応した給食を提供する</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・安全を最優先として、食物アレルギーを持つ児童生徒にも可能な限り対応します。このため、文部科学省の「食物アレルギー対応指針」等に基づく施設を整備します。また、栄養士の充実を図り、適切なアレルギー対応が実施できる体制を整備します。</li></ul> <p><b>方針4 食育を推進する</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校給食を「生きた教材」として効果的に活用した食育を推進します。このため、調理の様子を見ることができ環境等を整備し、施設見学や給食の試食体験を通して、学校給食に対する理解を深めます。また、地域と協力しながら、地産産物を積極的に活用するなど、地産地消の取組を促進します。</li></ul> <p><b>方針5 将来にわたり安定的な給食提供体制を構築する</b></p> <p>本市の児童生徒数は、今後減少していくことが見込まれているとともに、調理の担い手不足が懸念されるため、財政負担にも配慮しながら、長期的な視点に立った合理的で効率的な施設整備と運営を行います。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

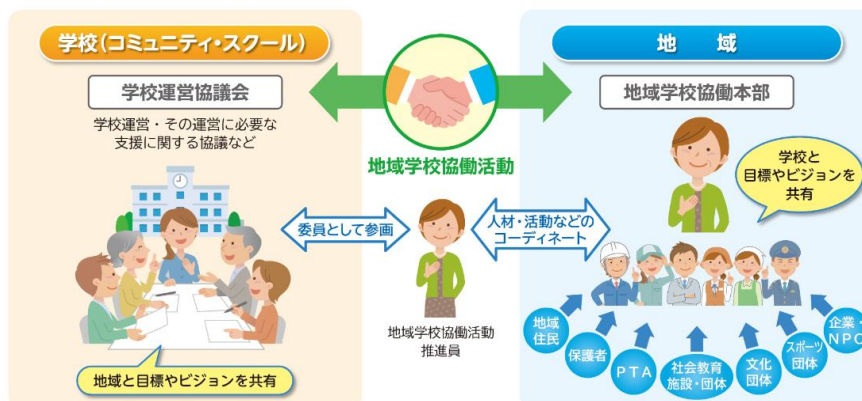
※1 HACCP(Hazard Analysis and Critical Control Point)とは

食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去又は低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法です。令和3年6月1日から、原則としてすべての食品等事業者がHACCPに沿った衛生管理に取り組むことになっています。

「柏市学校給食将来構想改訂版」(令和6年3月)より

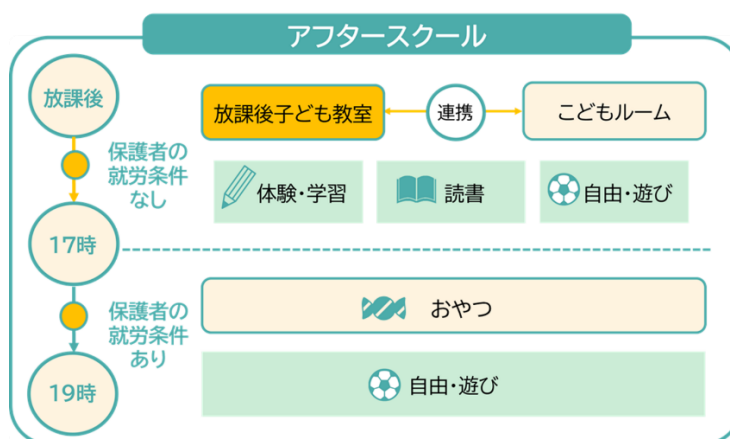
基本目標5 家庭・地域との連携・協働の推進

図表 28 コミュニティ・スクールの概要 (p. 59)



文部科学省「これからの学校と地域 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動」より

図表 29 柏市のアフタースクール事業概要 (p. 61)



柏市教育委員会作成

図表 30 柏市制服バンク (p. 63)



柏市教育委員会作成

## 2 意見聴取の実施

### (1) 教育に関するアンケート調査

#### I 調査の概要

##### 1 調査の目的

「教育振興計画」の次期計画策定に当たり、有意義かつ実効性のある計画とするため

##### 2 調査対象

- ・ 柏市に住民登録をされている 16 歳以上の市民
- ・ 市立小中高等学校に通う児童生徒（小学 2 年生・ 5 年生、中学 1 年生、高校 1 年生）
- ・ 市立小中高等学校の教職員

##### 3 調査期間

令和 6 年 12 月 5 日～令和 6 年 12 月 27 日

##### 4 調査方法

郵送による配布、郵送・WEB による回収

##### 5 回収状況

対象	配布数	有効回答数	有効回答率
全体	17,243 通	9,623 通	55.8%
1 市民	4,000 通	1,574 通	39.4%
2 小中学生	10,049 通	6,874 通	68.4%
3 高校生	320 通	260 通	81.3%
4 教職員	2,874 通	915 通	31.8%

##### 6 備考

アンケート調査は、「生涯学習推進計画」及び「芸術文化振興計画」の次期計画策定のための調査も合わせて実施していますが、本資料編においては、「学校での教育」及び「地域との関わり」に関する設問だけを掲載しています。

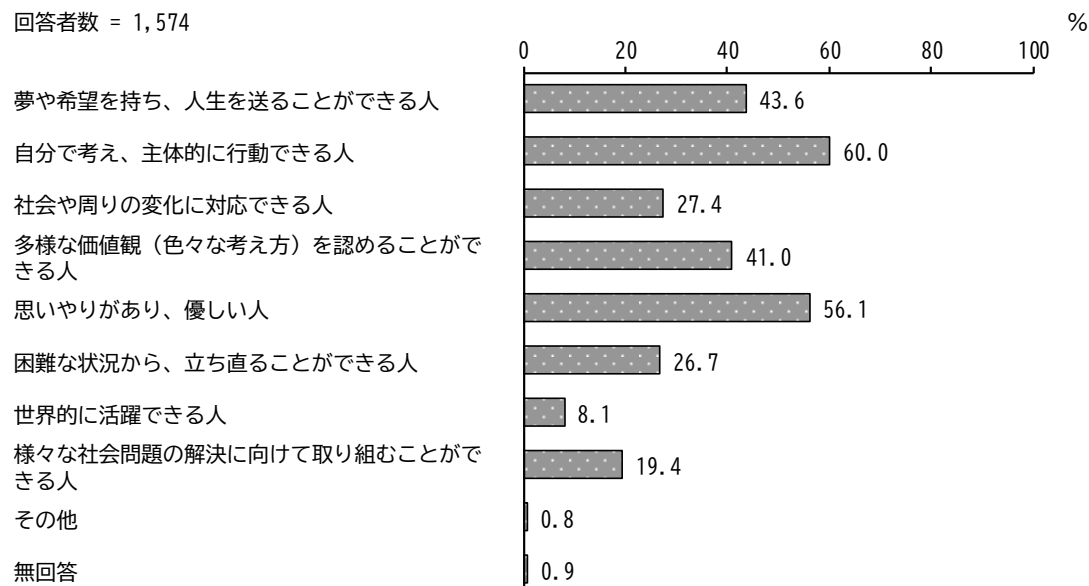
## II 調査結果

### 1 市民

#### (1) 学校での教育について

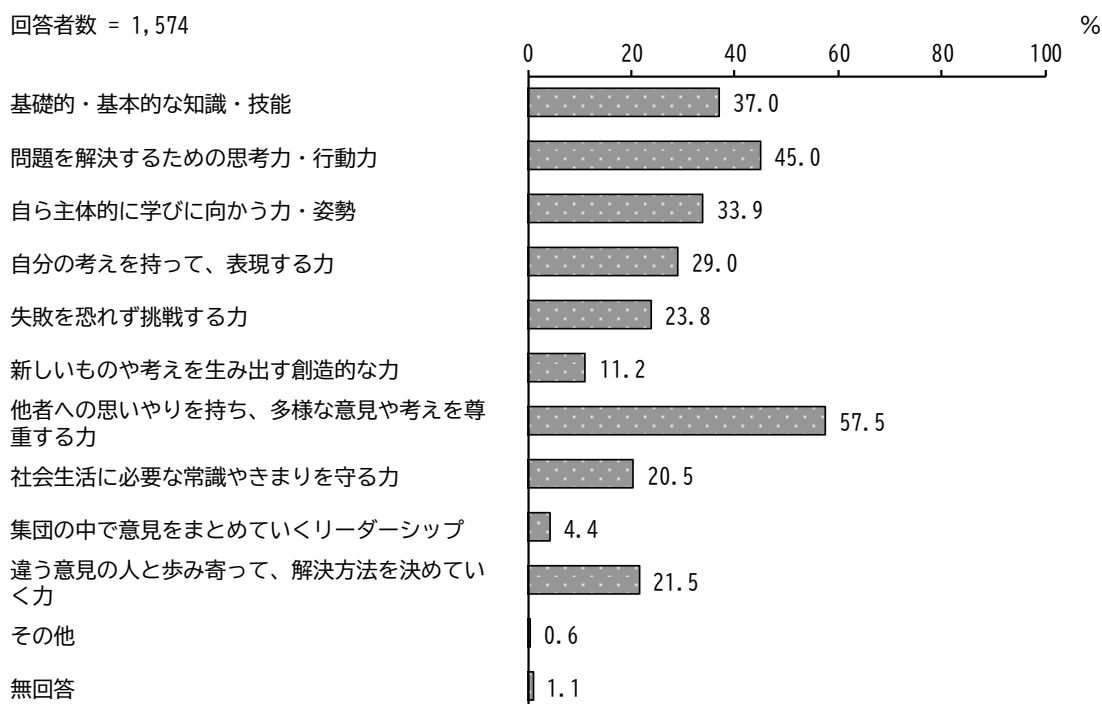
問1 将来の柏市を考えたとき、子どもたちにどのような大人になってほしいですか。(〇は3つまで)

回答者数 = 1,574

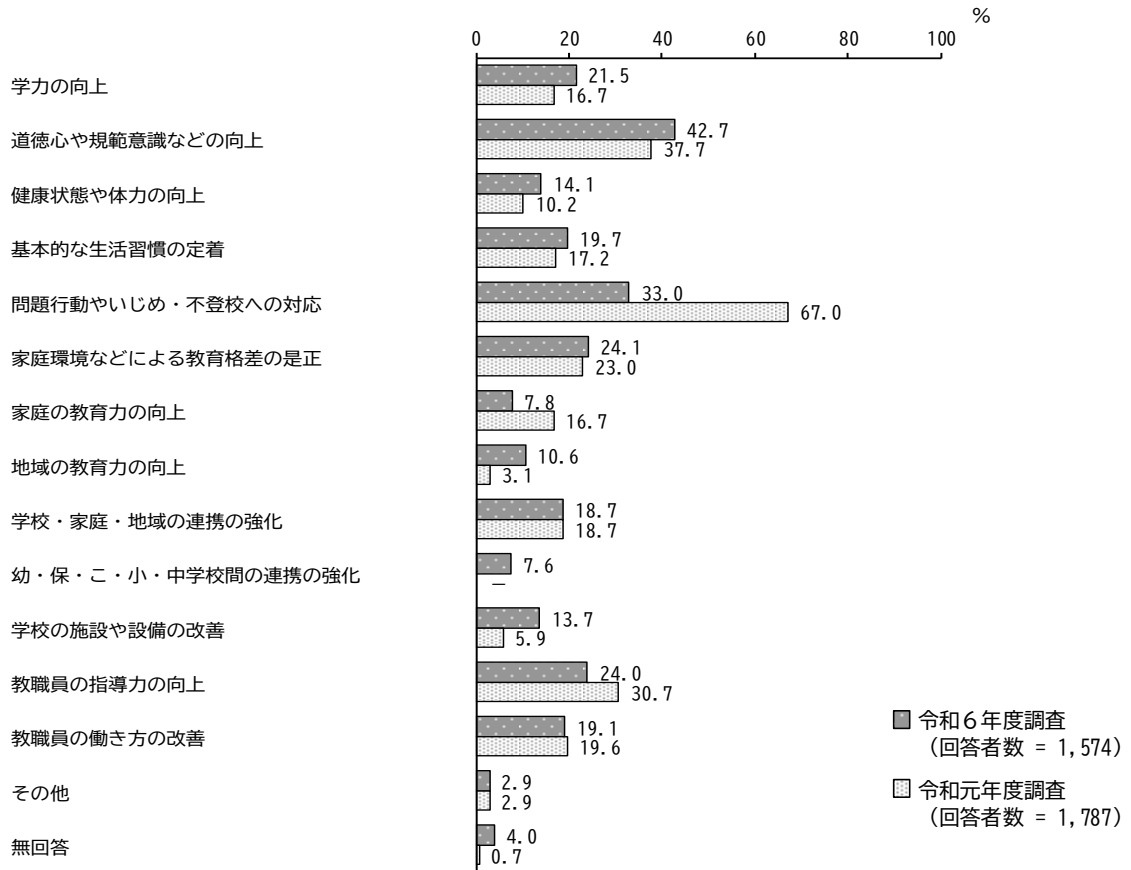


問2 問1のような大人になるためには、どのような資質や能力が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

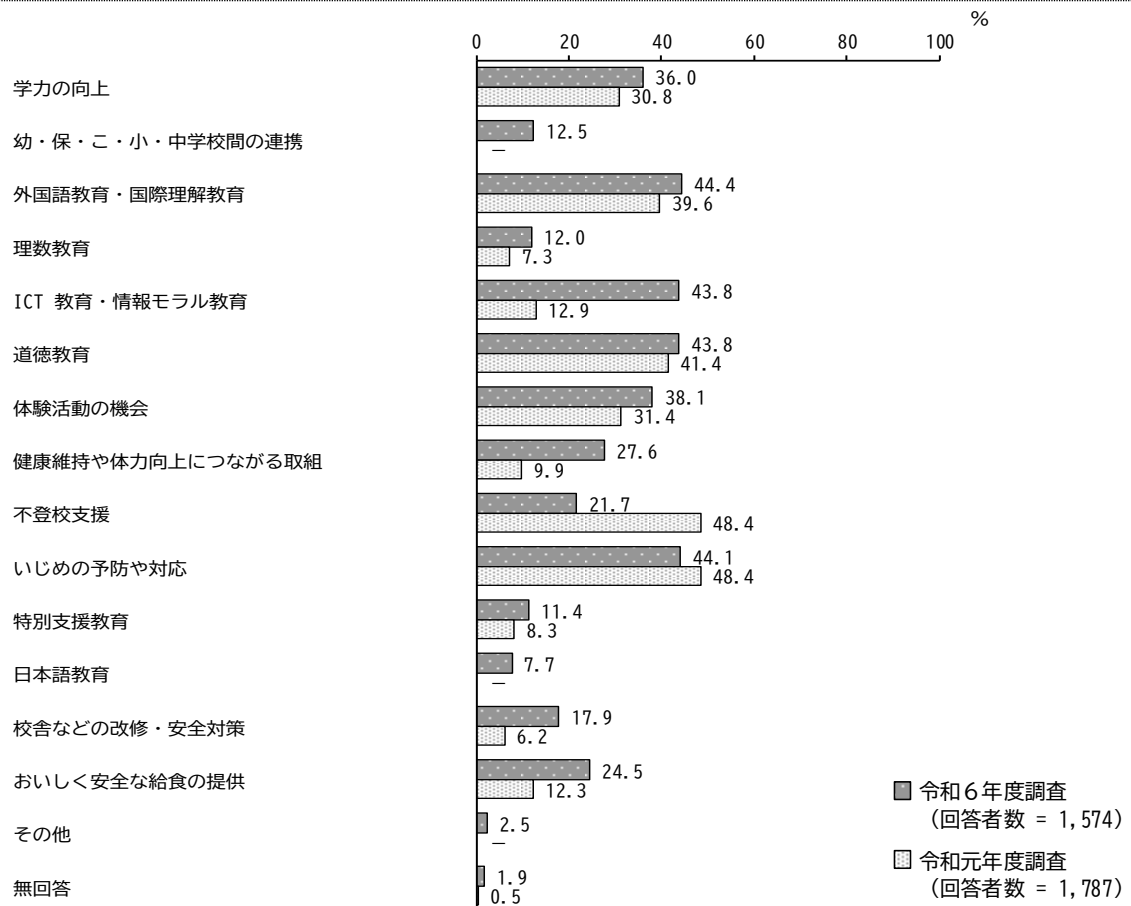
回答者数 = 1,574



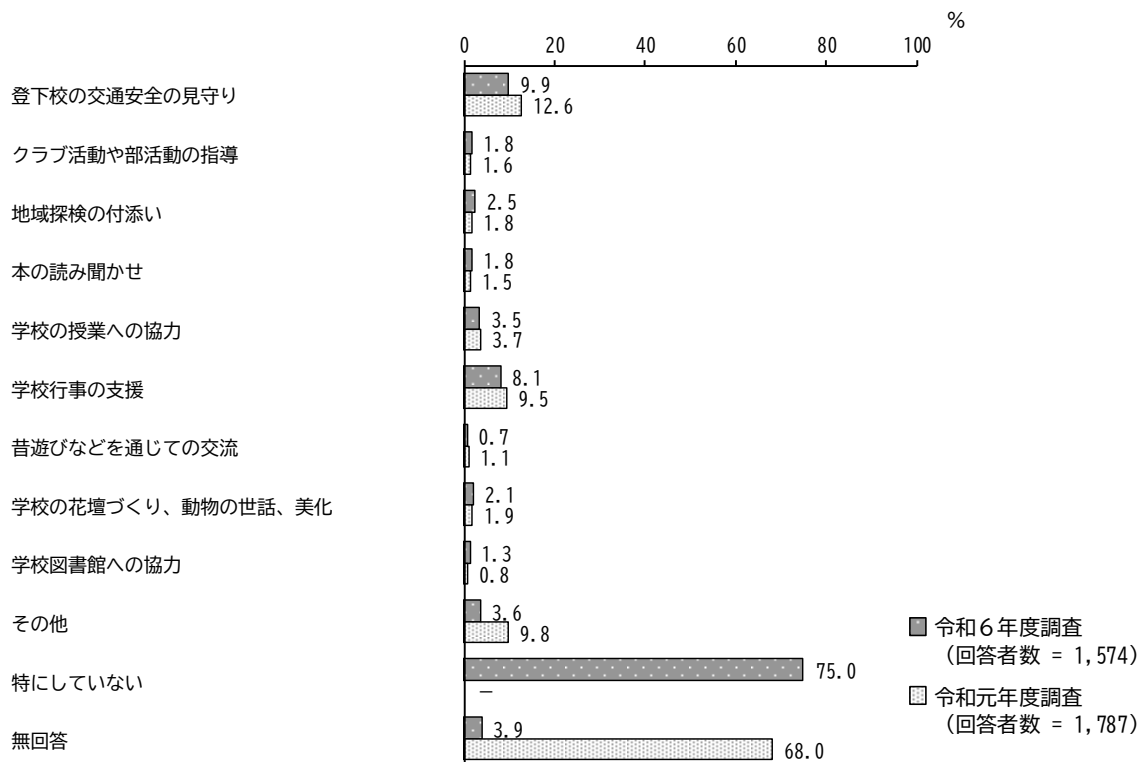
問3 柏市における教育的課題だと感じるものは何ですか。(〇は3つまで)



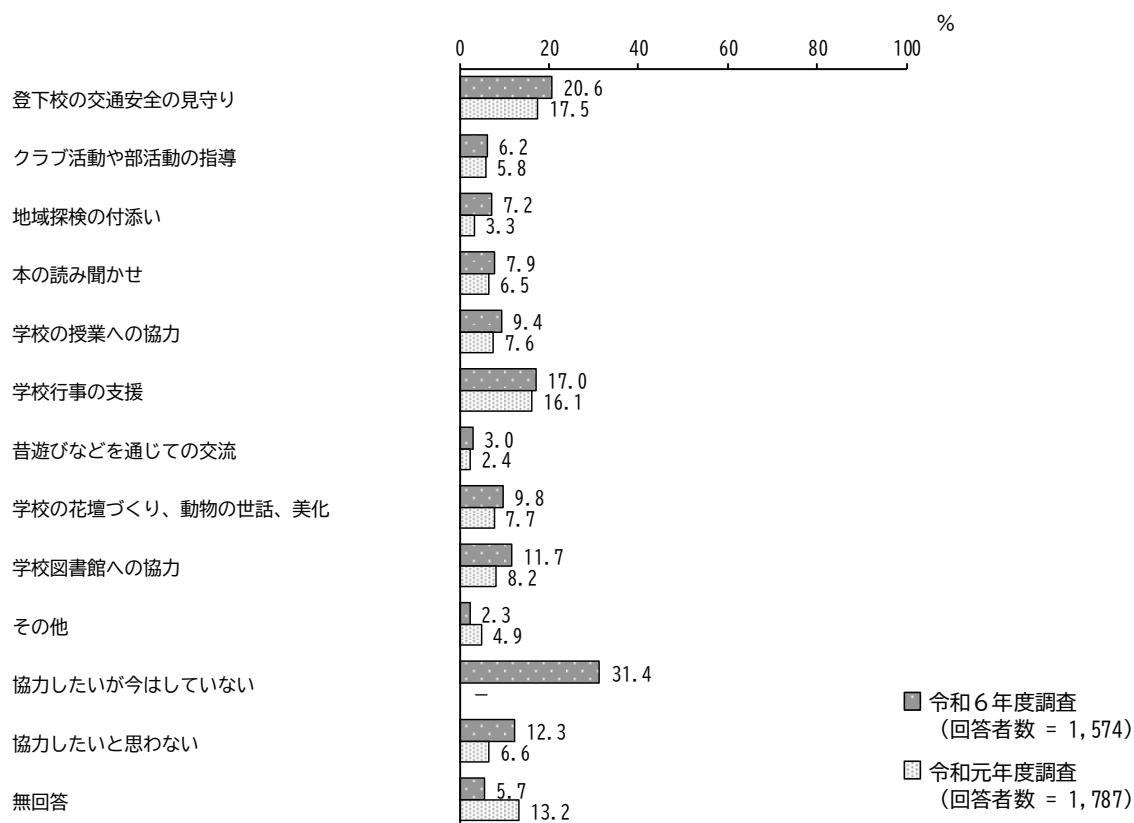
問4 あなたは、小中学校での教育において、どの取組を特に充実させるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)



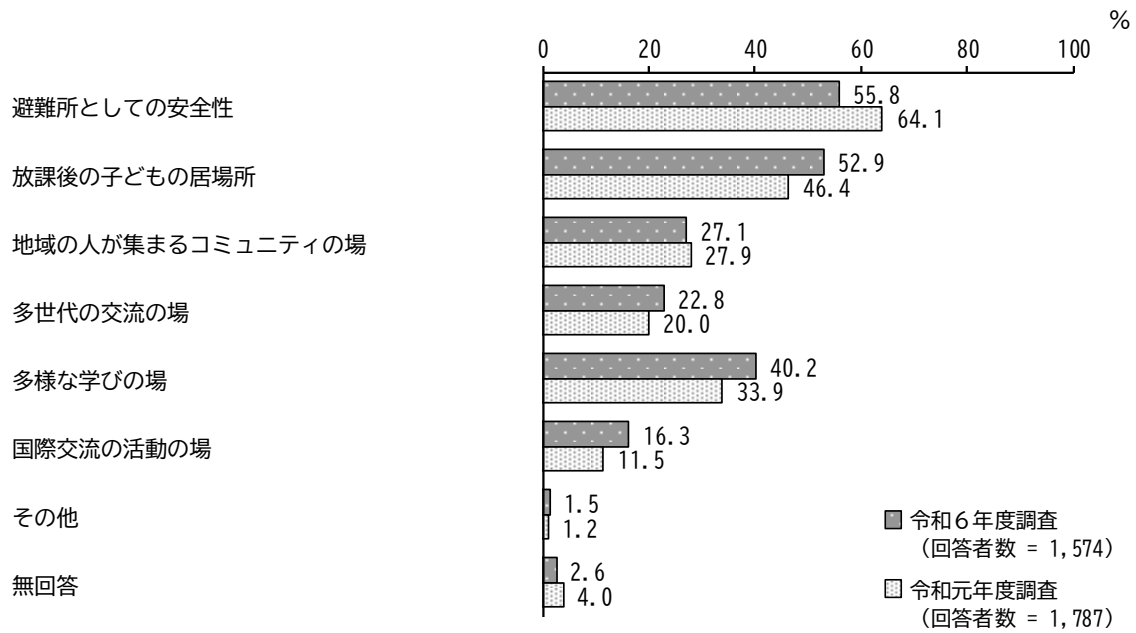
問5 あなたは、学校に対して協力していることがありますか。(〇はいくつでも)



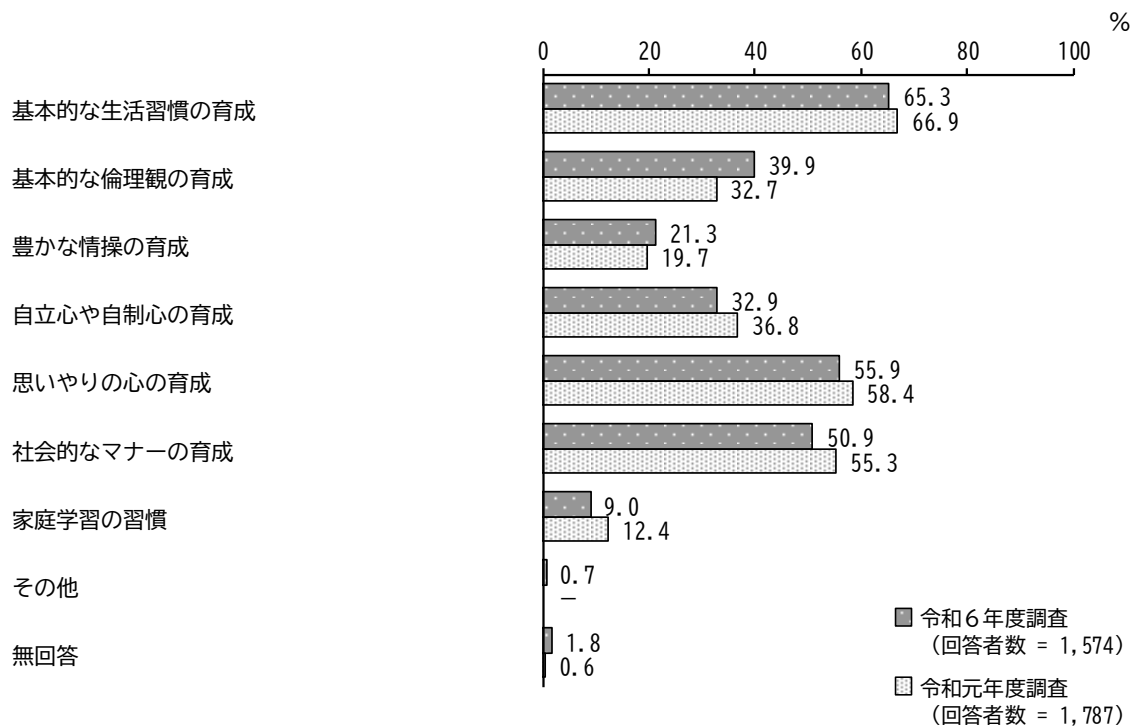
問6 あなたは、学校に対して協力してもよいと思うことがありますか。(〇は3つまで)



問7 あなたは、学校に対して教育以外にどのようなことを期待していますか。(〇は3つまで)

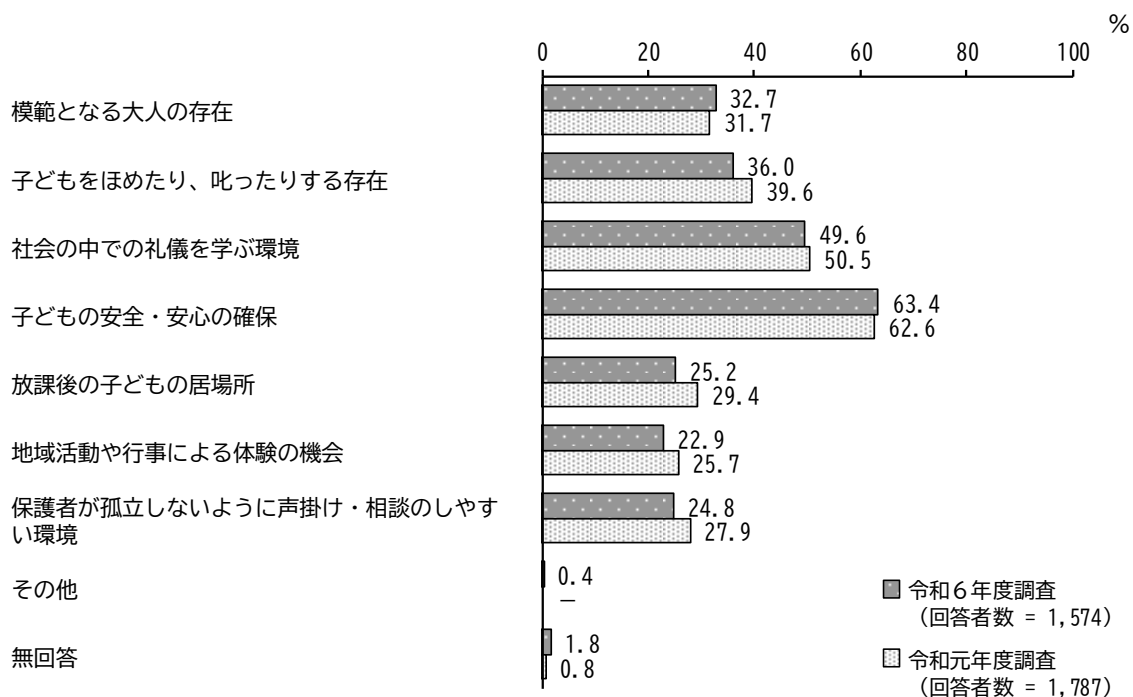


問8 あなたは、家庭における子どもの教育について、何が大事だと思いますか。(〇は3つまで)



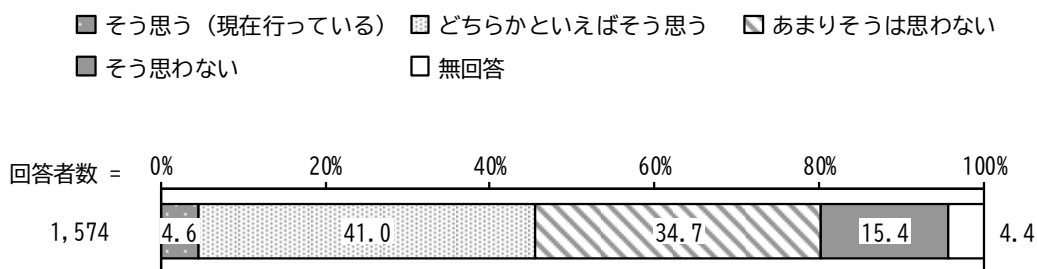
※令和元年度調査では「その他」はありませんでした。

問9 あなたは、地域における子どもの教育について、何が大事だと思いますか。(〇は3つまで)



※令和元年度調査では「その他」はありませんでした。

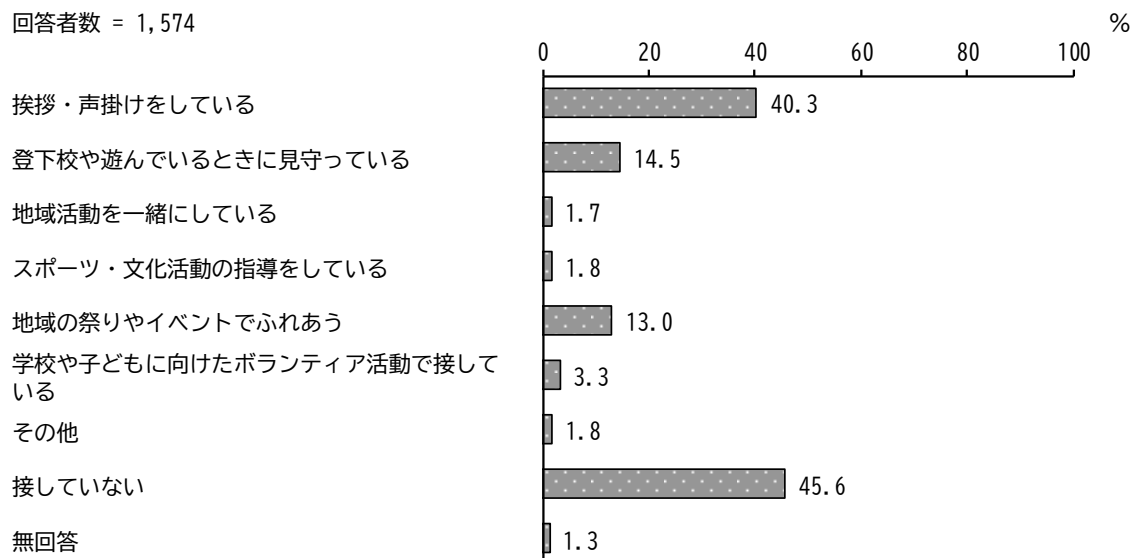
問10 コミュニティ・スクール(学校運営協議会)などの地域の教育活動に参加したり、学校支援ボランティアなどに協力したいと思いますか。(〇は1つ)



## (2) 地域との関わりについて

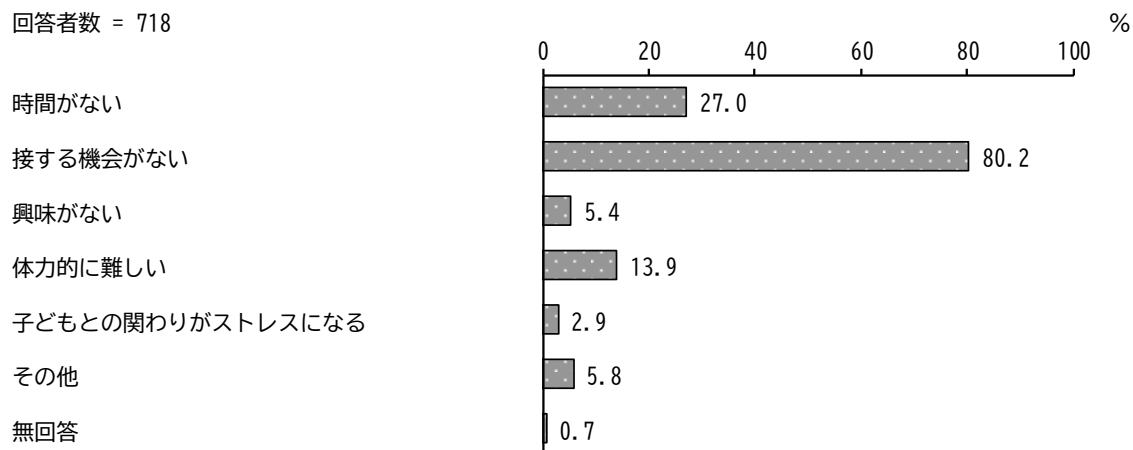
問11 あなたは、普段、地域の子ども（小・中学生）とどのように接していますか。（〇は3つまで）

回答者数 = 1,574



問12 子どもと接していない理由を教えてください。（〇は3つまで）

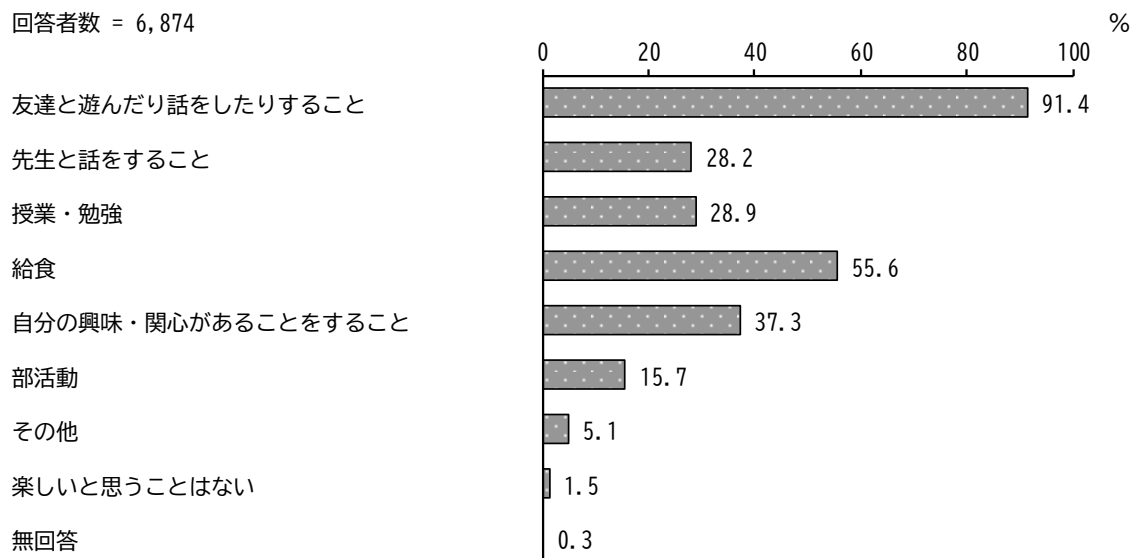
回答者数 = 718



## 2 小中学生

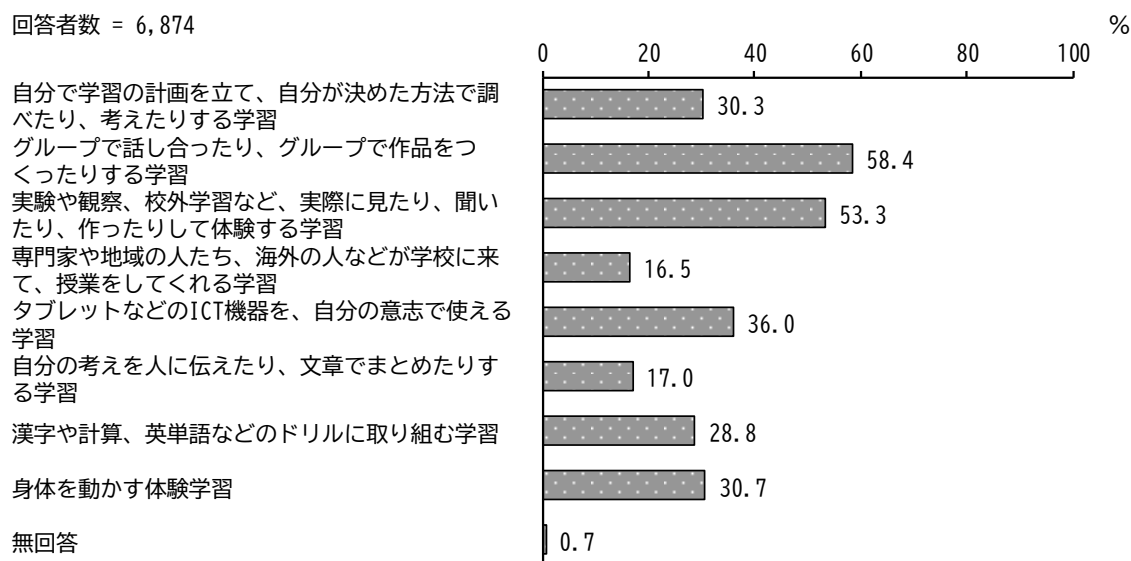
## (1) 学校での生活について

問2 あなたが学校で楽しいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)



※小学2年生、小学5年生へのアンケートでは「部活動」はありませんでした。

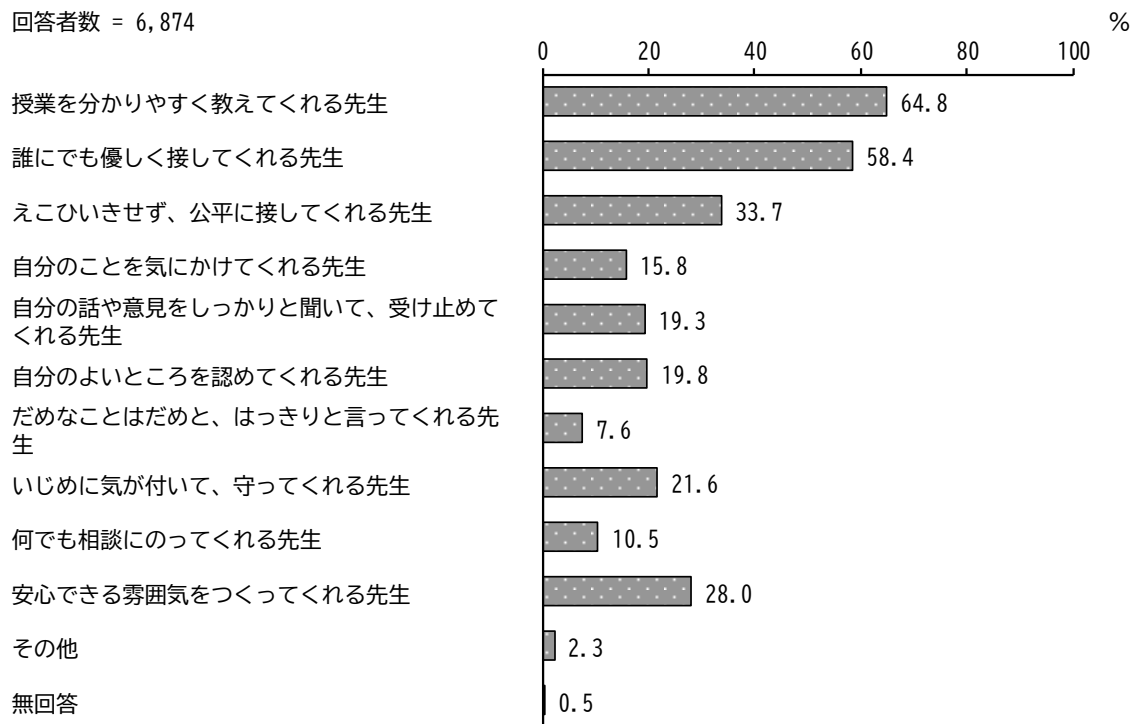
問3 学校の授業はどんな勉強方法だと、よりわかりやすいと思いますか。(〇は3つまで)



※問1は、回答者の学校名を聞いた設問のため掲載を割愛しています。

問4 あなたがいいなと思う先生はどんな先生ですか。(○は3つまで)

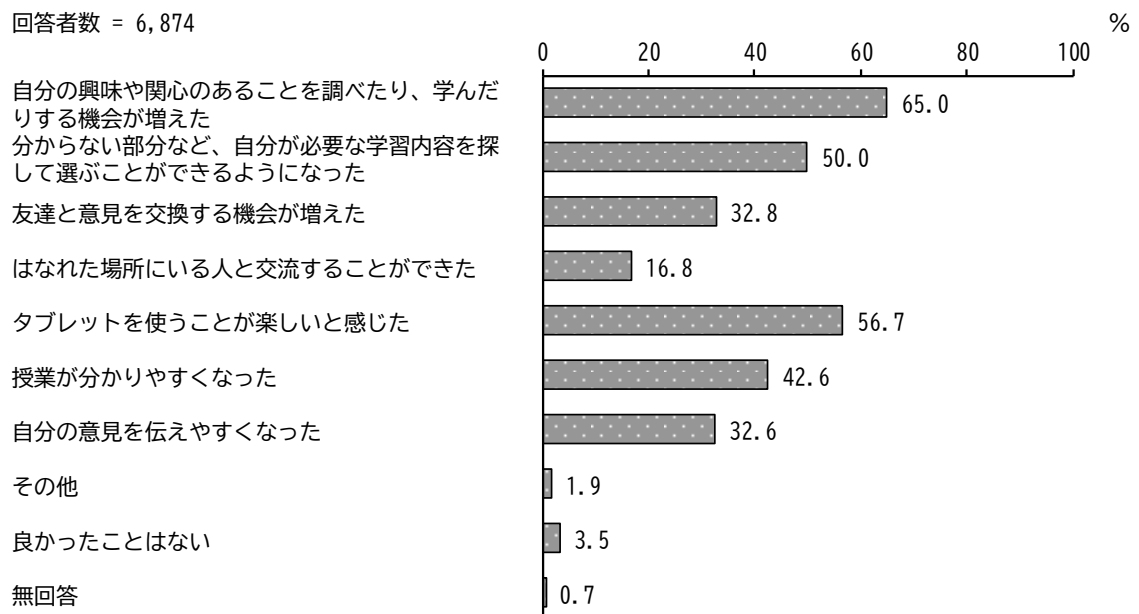
回答者数 = 6,874



※小学5年生、中学生では「いじめに気が付いて、守ってくれる先生」はありませんでした。

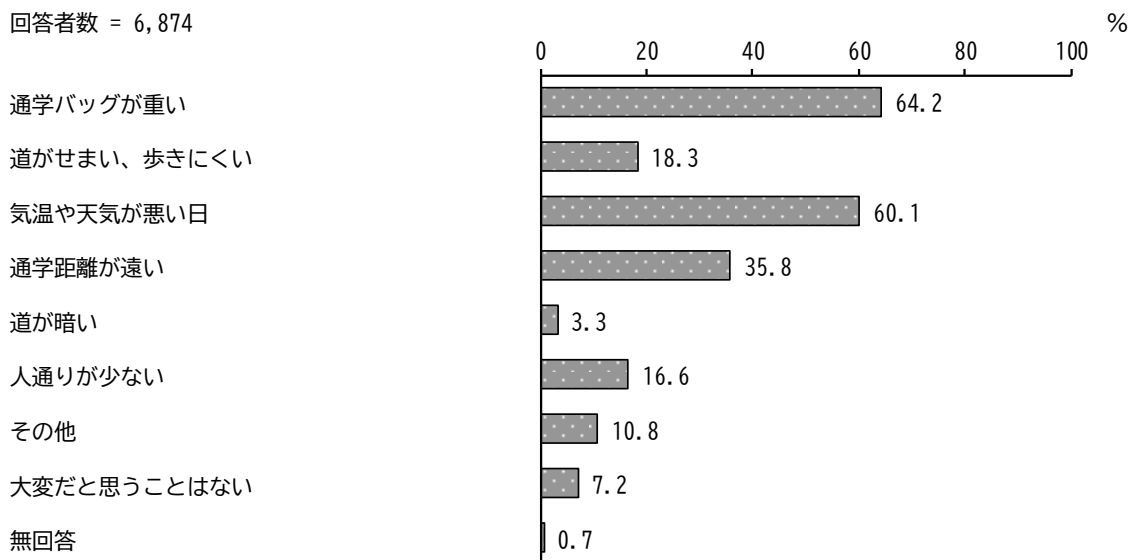
問5 タブレットを使った授業を受けて良かったことは何ですか。(○はいくつでも)

回答者数 = 6,874



問6 学校の登下校時に大変だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

回答者数 = 6,874



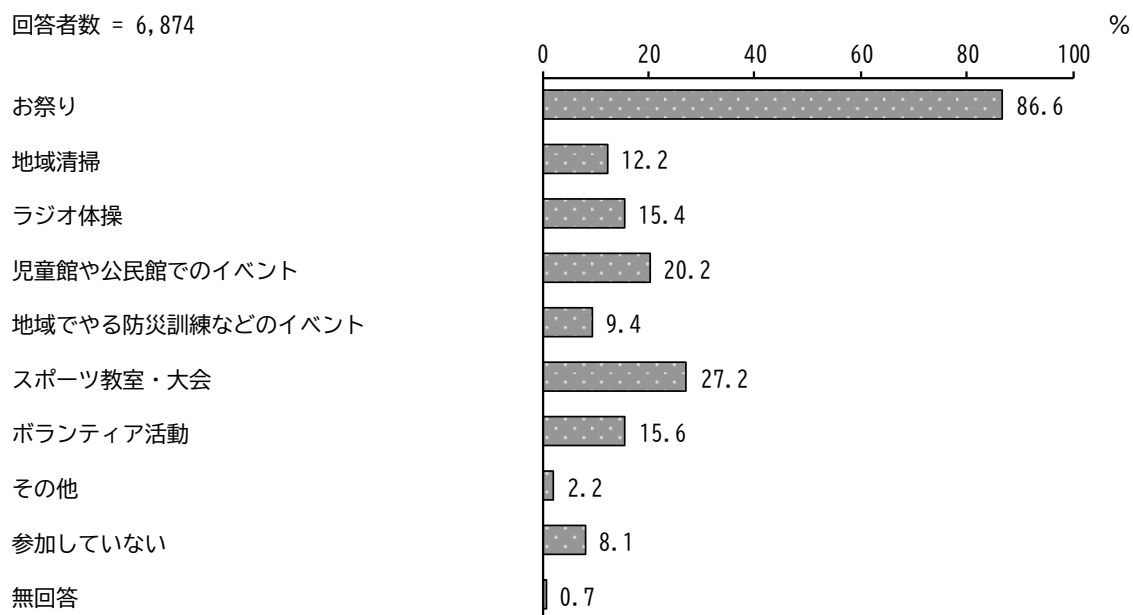
※小学2年生、小学5年生では「道が暗い」はあり

問7 “こんな学校だったらいいな”と思うのは、どんな学校ですか。(自由記述)  
(例：いじめがない学校、すてきな先生がいる学校、居心地がよい学校 など)

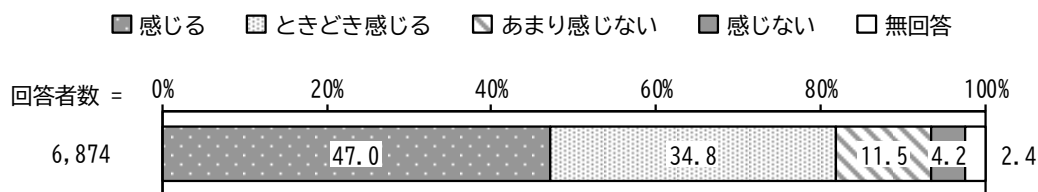
	カテゴリ	学年別件数		
		小学2年生	小学5年生	中学1年生
1	いじめがない学校	870	800	448
2	みんな仲良い学校 楽しく、明るい学校	573	397	315
3	優しい先生がいる学校	219	275	142
4	公平・平等で、差別のない学校	—	162	116
5	広く、設備の充実した学校	15	106	91

## (2) 地域の人との関わり方について

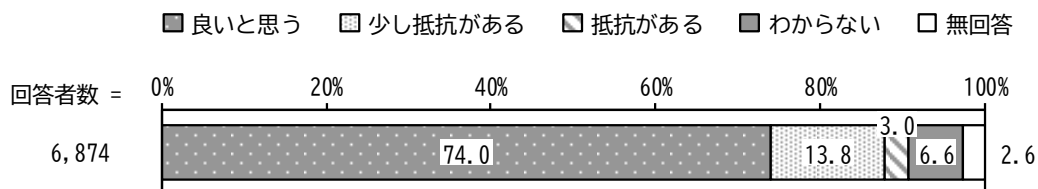
問8 どんな地域のイベントなどに参加していますか。(〇はいくつでも)



問9 あなたは、地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じますか。(〇は1つ)

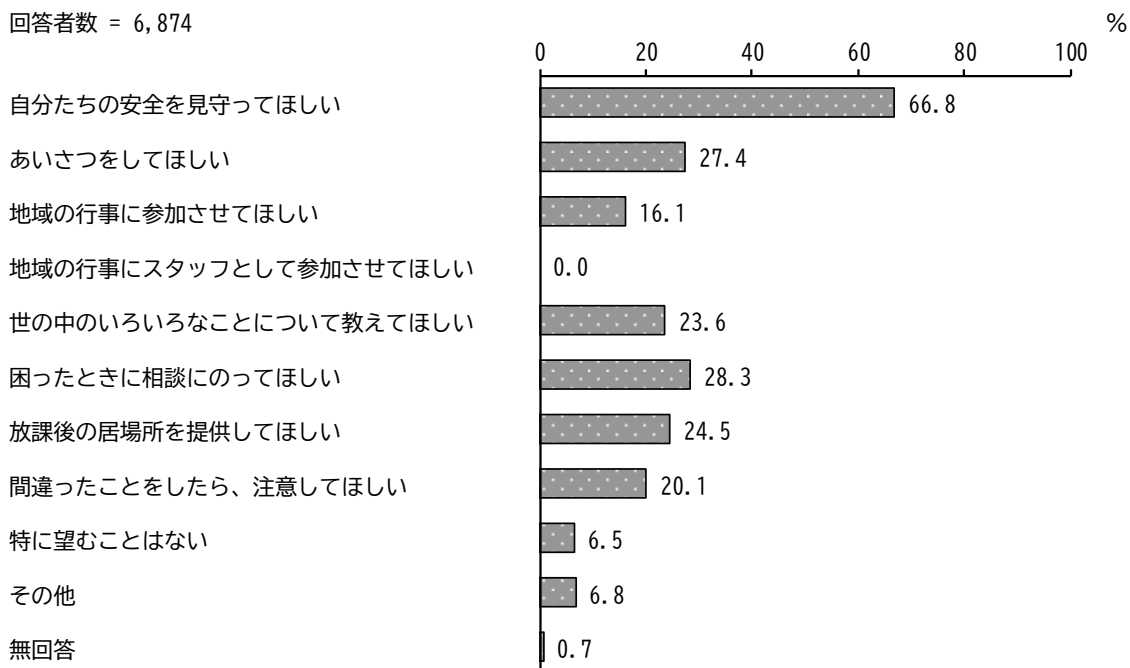


問10 学校の中に地域の大人(授業のお手伝いやボランティアなど)がいることをどう思いますか。(〇は1つ)



問11 あなたが地域の大人に望むことは何ですか。(〇は3つまで)

回答者数 = 6,874

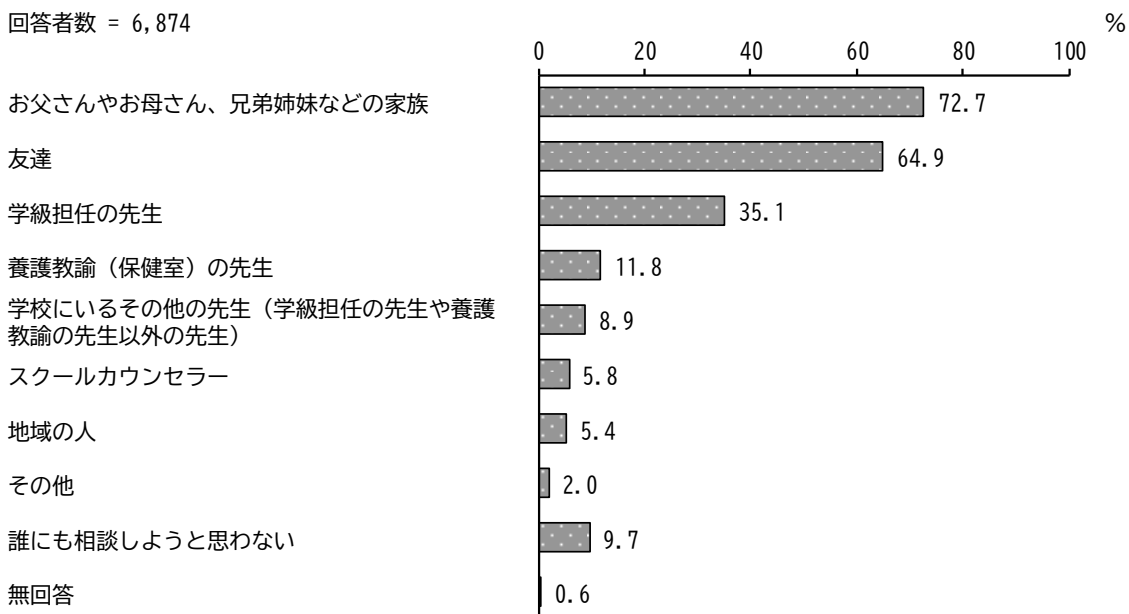


※小学2年生、小学5年生では「地域の行事にスタッフとして参加させてほしい」はありませんでした。

(3) あなた自身のことについて

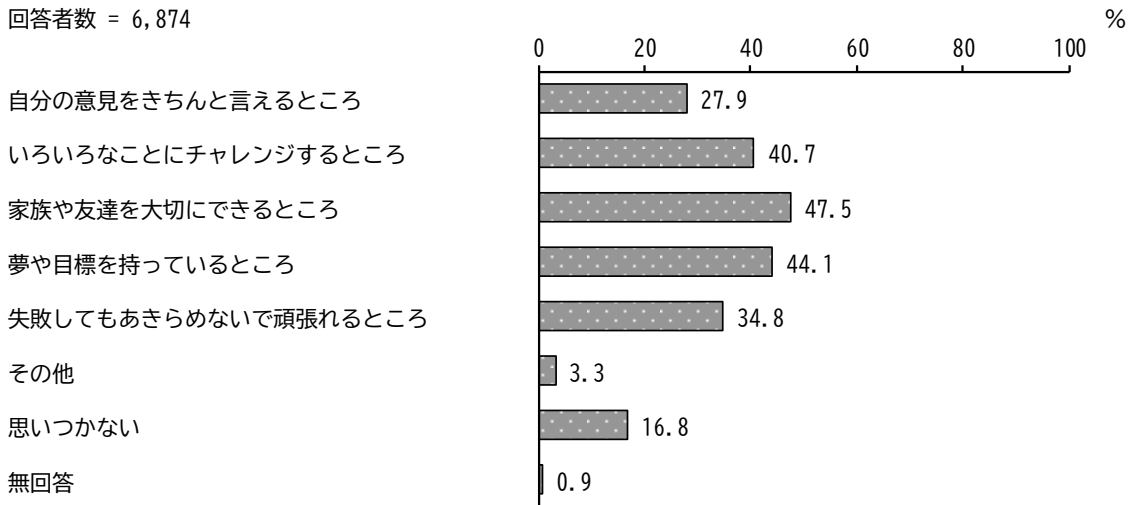
問18 あなたは困ったことがあったとき、誰に相談しやすいですか。(〇はいくつでも)

回答者数 = 6,874



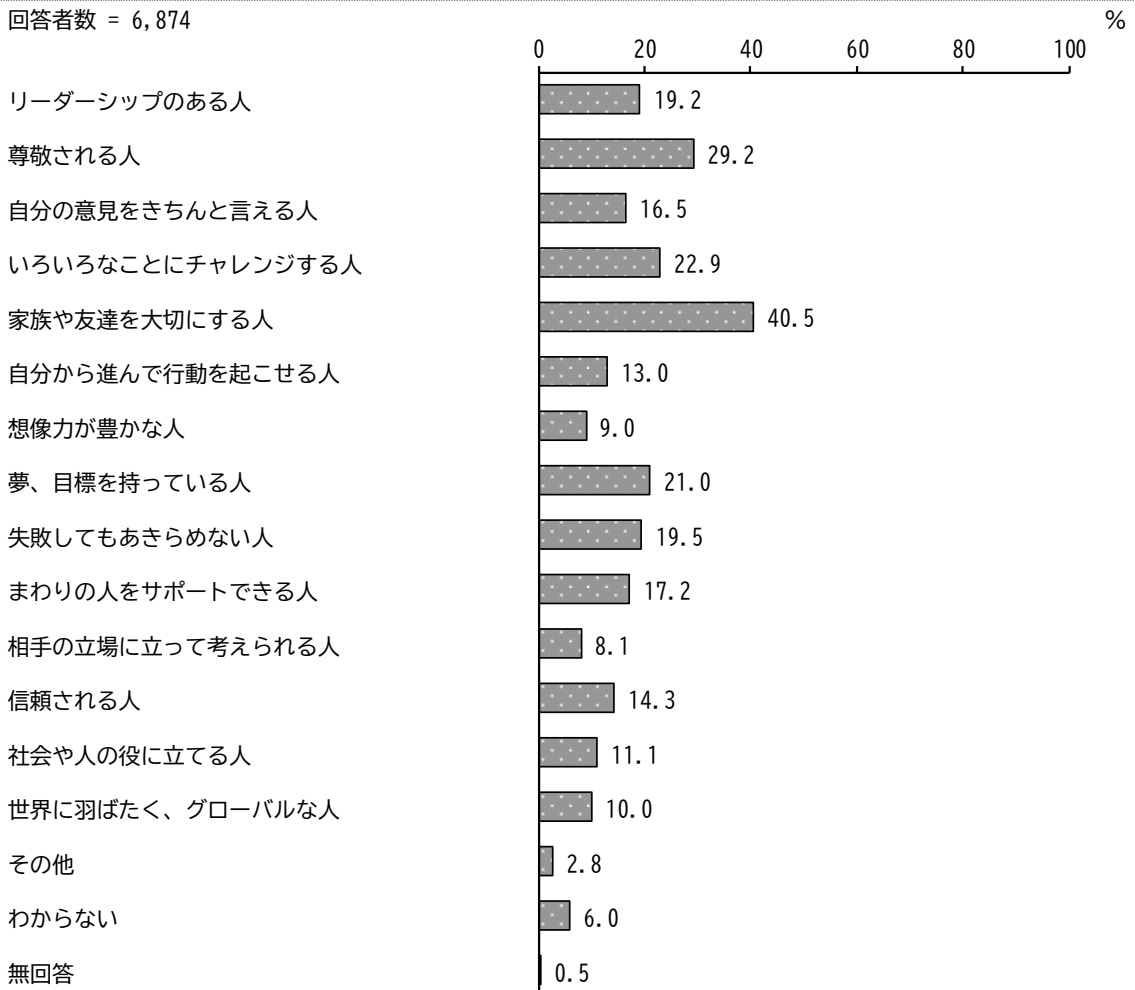
問 19 あなたのよいところはどんなところだと思いますか。(〇はいくつでも)

回答者数 = 6,874



問 20 将来はどんな人になりたいですか。(〇は3つまで)

回答者数 = 6,874

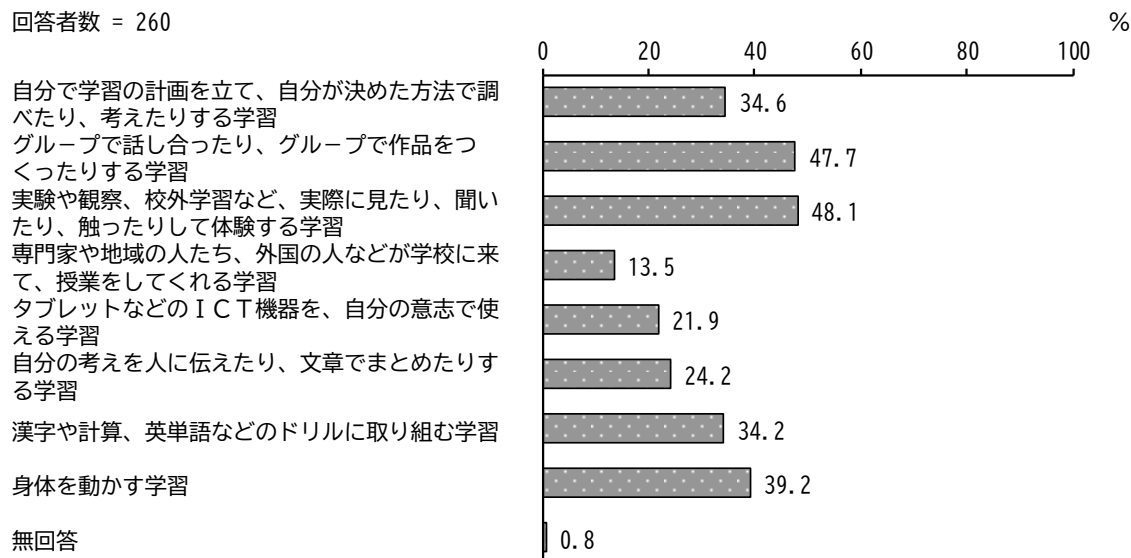


### 3 高校生

#### (1) 学校での生活について

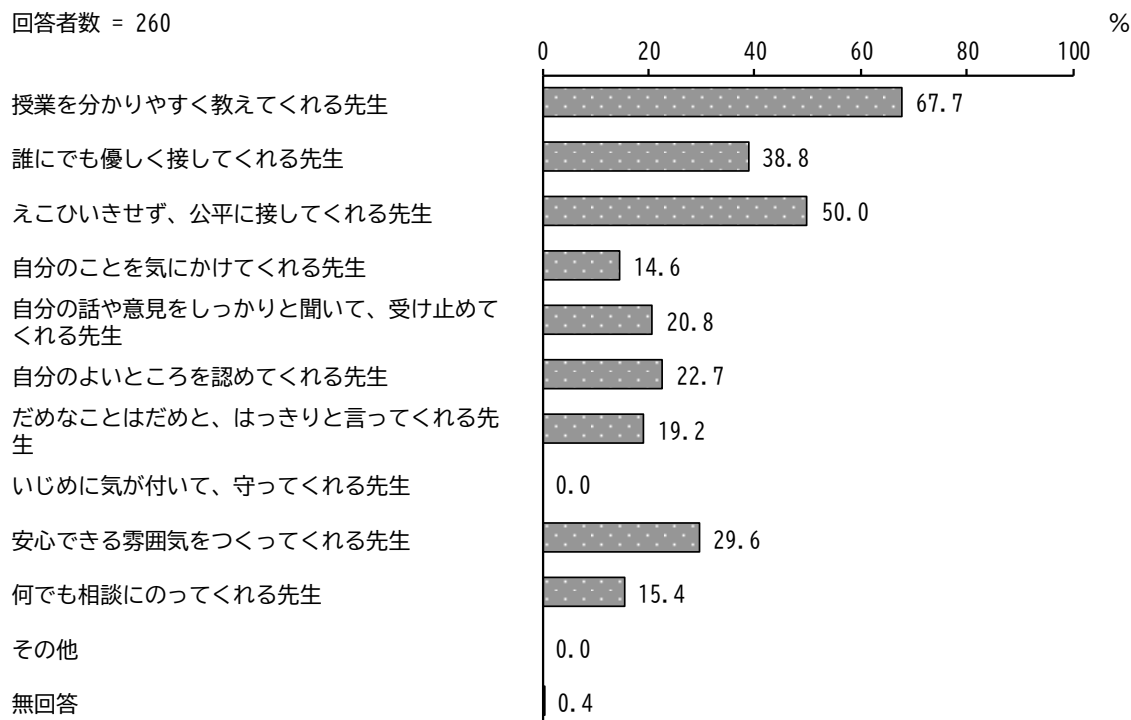
問1 あなたはどんな学び方だと、より理解が進むと思いますか。(○は3つまで)

回答者数 = 260



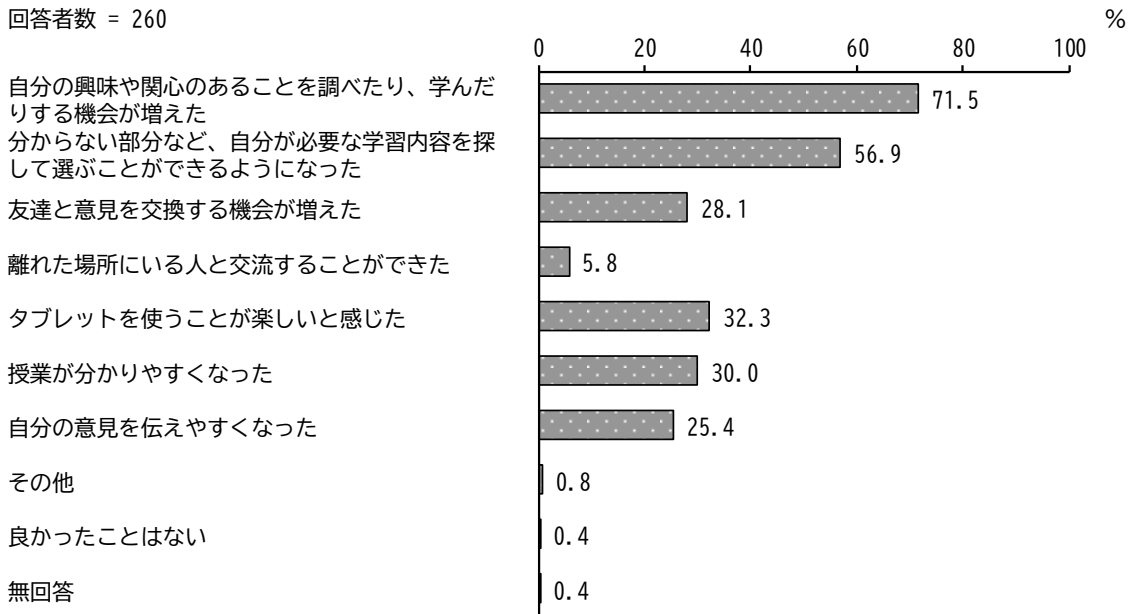
問2 あなたがいいなと思う先生はどんな先生ですか。(○は3つまで)

回答者数 = 260



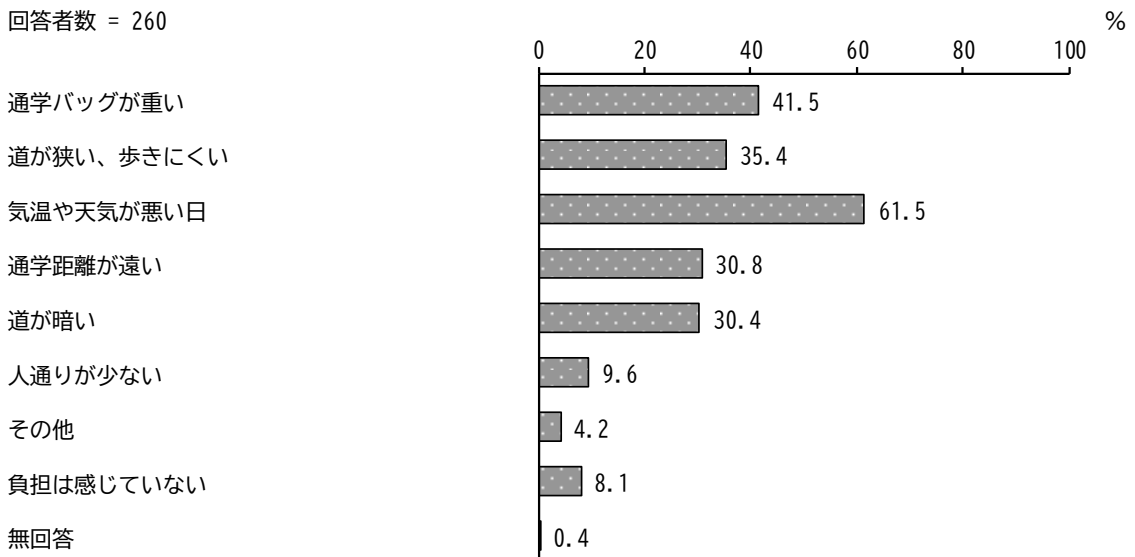
問3 タブレットを使った授業を受けて良かったことは何ですか。(〇はいくつでも)

回答者数 = 260



問4 学校の登下校時に負担となっていることは何ですか。(〇はいくつでも)

回答者数 = 260



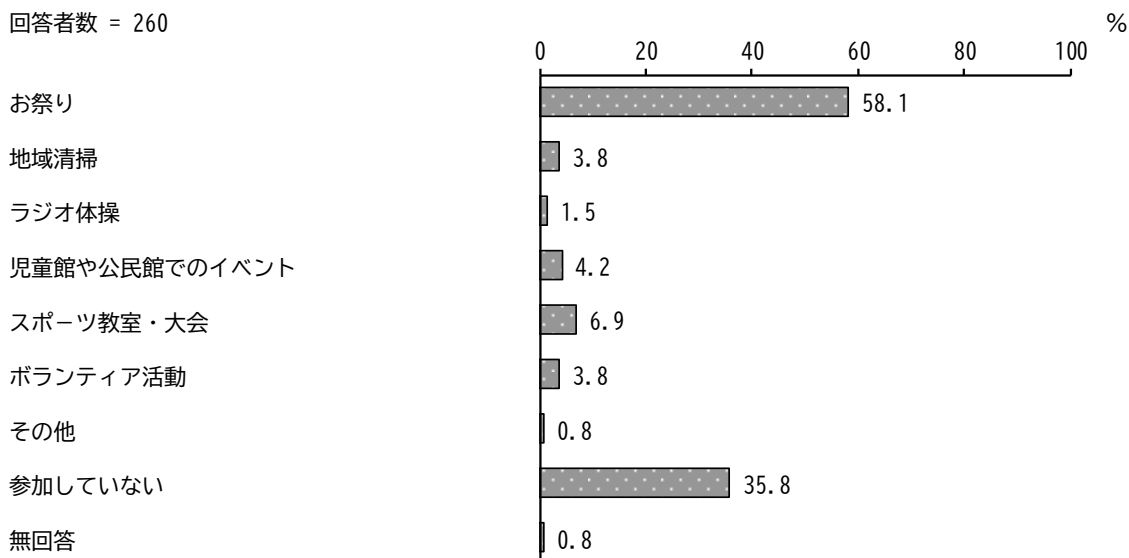
問5 学校に、こうあってほしいと思うこと、こんなところを変えてほしいと思うことは、どのようなことですか。(自由記述)

カテゴリ	件数
1 スマホの使用を許可してほしい	14
2 校則やルールの見直し	16
3 通学路・交通・通学環境改善	9
4 教員の対応・コミュニケーションの改善	7
5 試験・評価、情報伝達の改善	5
6 施設・設備改善	5
7 学食や自販機、購買の充実	5
8 授業・教育内容の改善	5
9 学校の雰囲気・環境改善	5
10 部活動の改善	4

(2) 地域のかたとの関わり方について

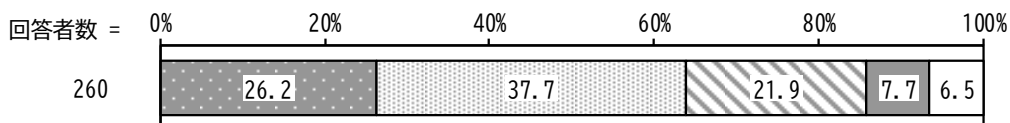
問6 地域のイベントなどに参加していますか。(〇はいくつでも)

回答者数 = 260



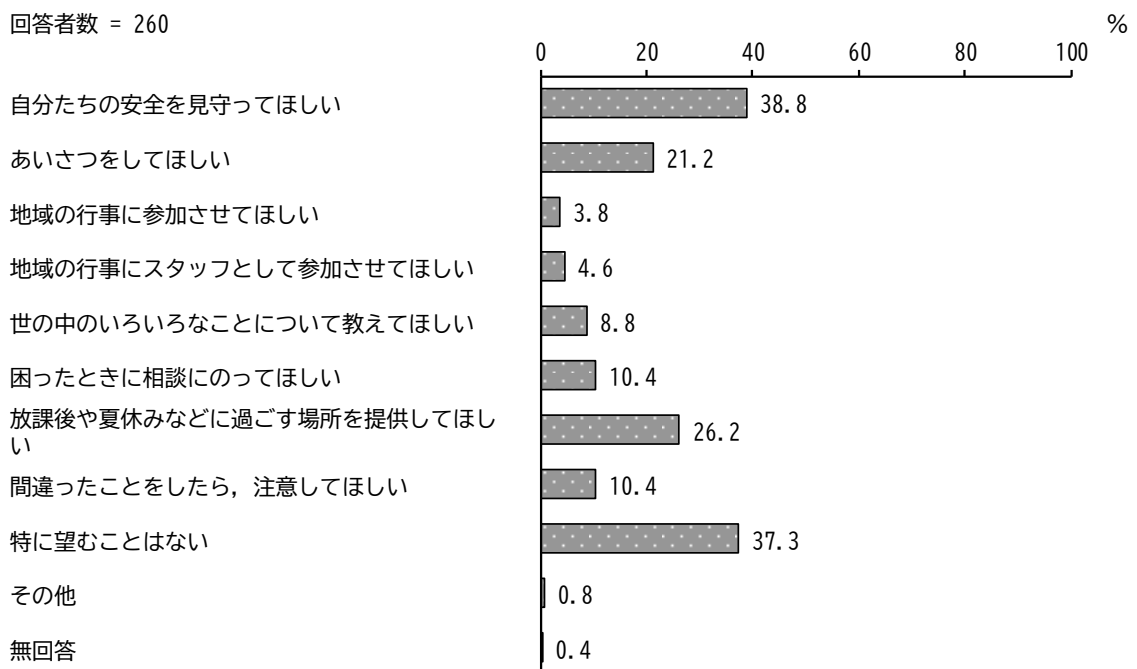
問7 あなたは、地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じますか。(〇は1つ)

■感じる □ときどき感じる □あまり感じない □感じない □無回答



問8 あなたが地域の大人に望むことは何ですか。(〇は3つまで)

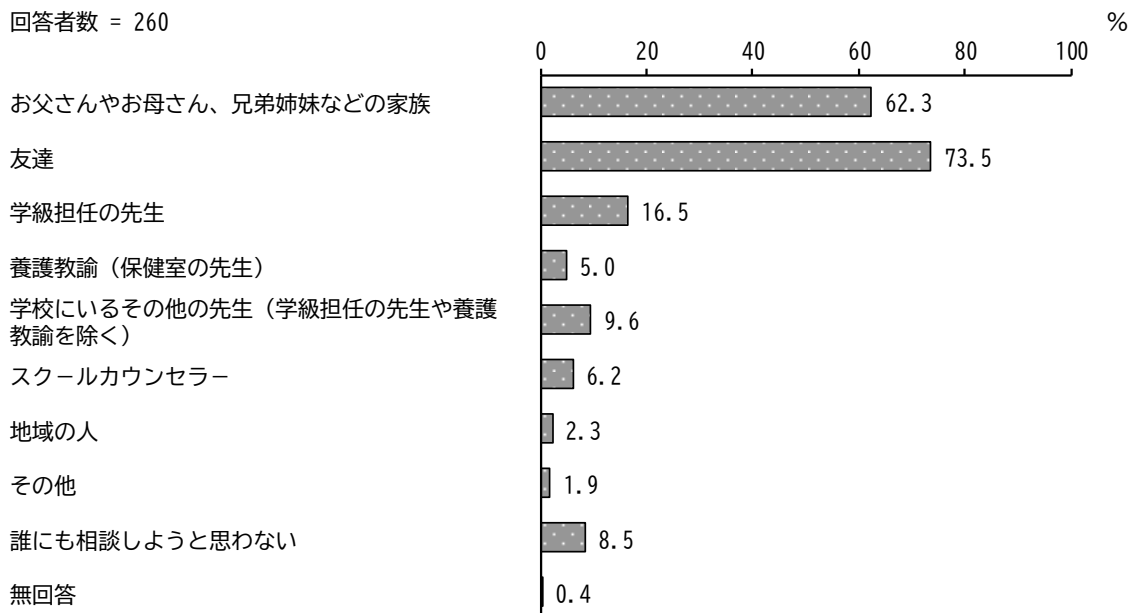
回答者数 = 260



(3) あなた自身のことについて

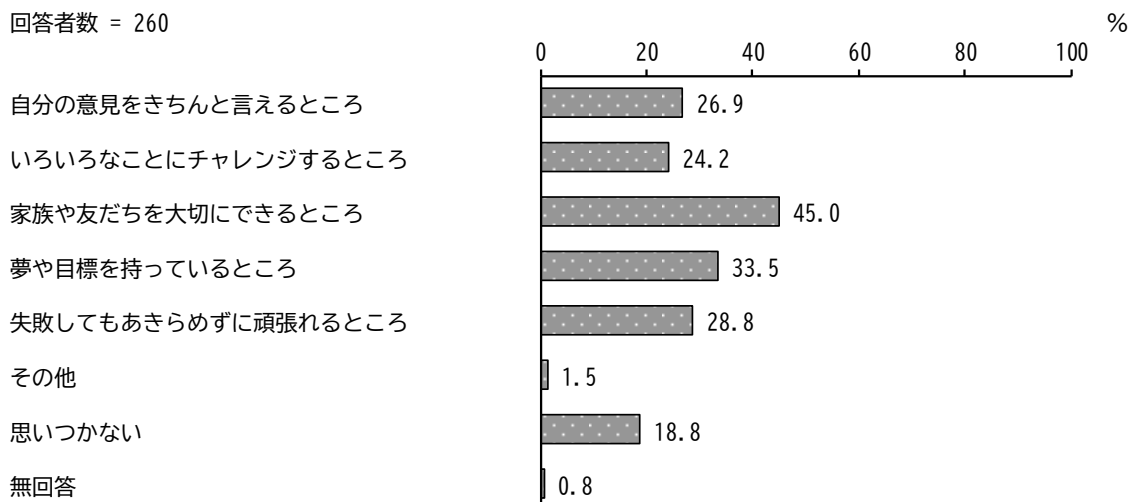
問28 あなたは困ったことがあったとき、誰に相談しやすいですか。(〇はいくつでも)

回答者数 = 260



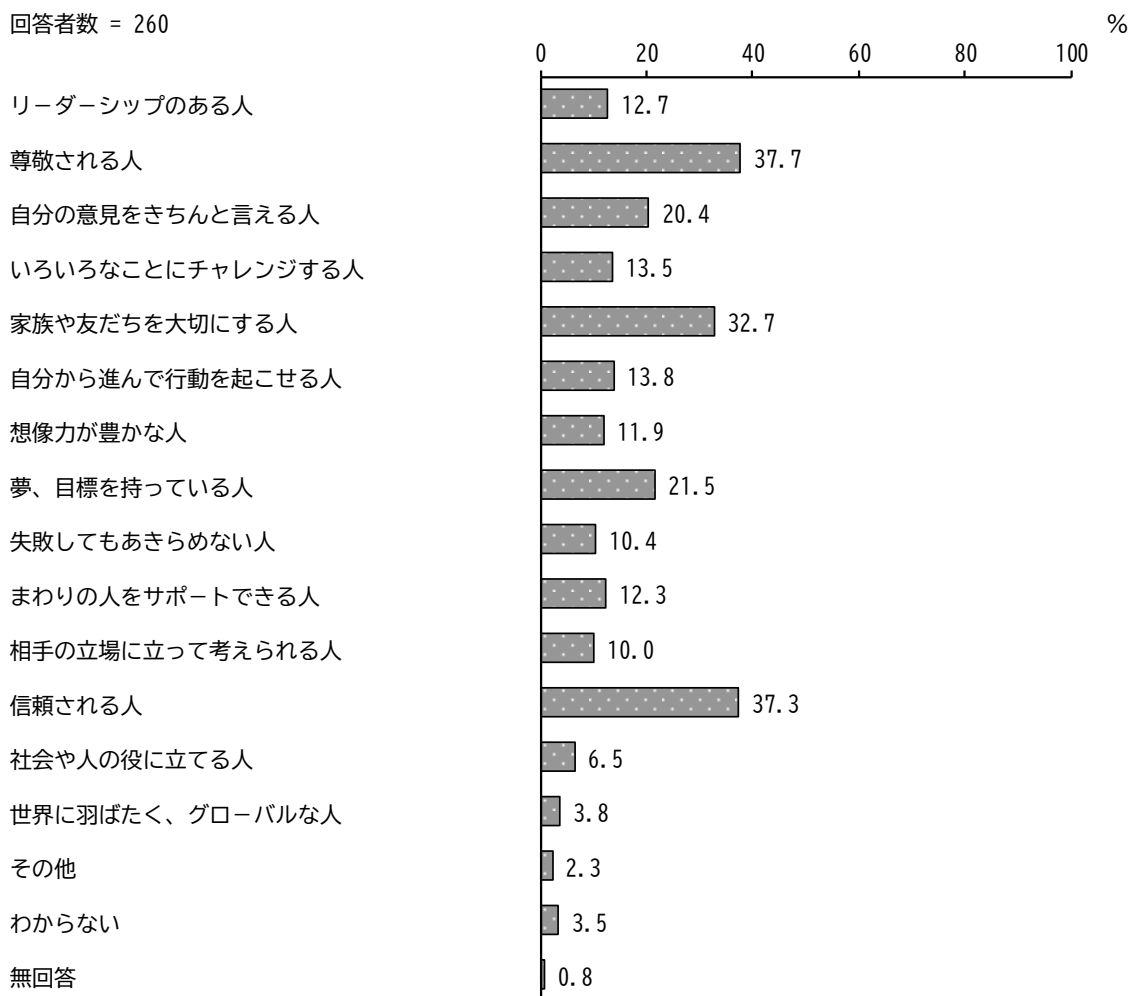
問 29 あなたのよいところはどんなところだと思いますか。(〇はいくつでも)

回答者数 = 260



問 30 将来はどのような人になりたいですか。(〇は3つまで)

回答者数 = 260

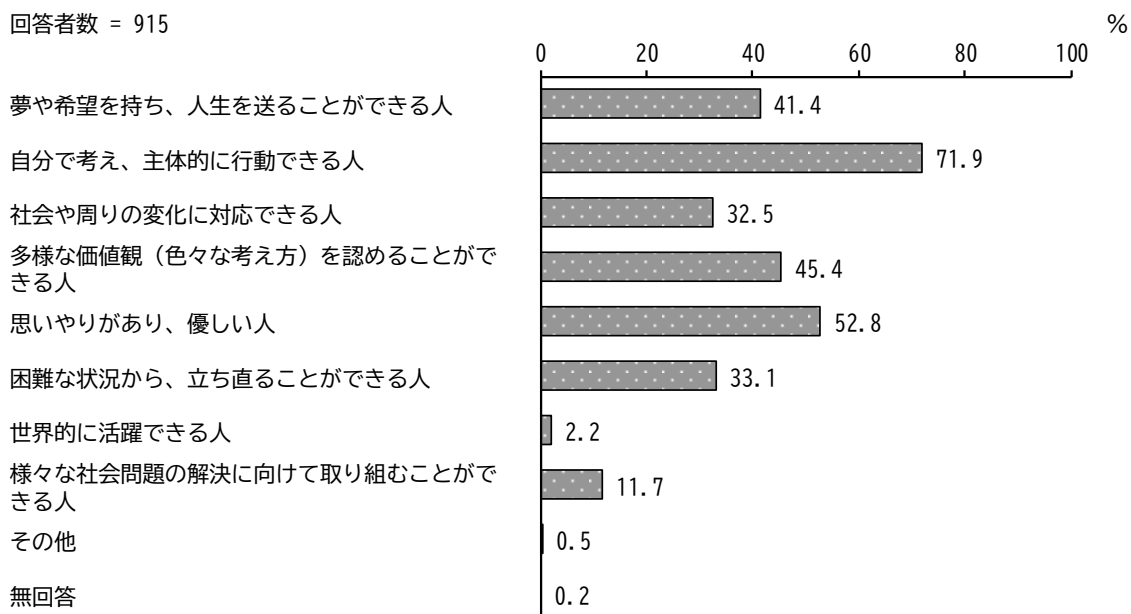


## 4 教職員

### (1) 教育や学習に関する取組について

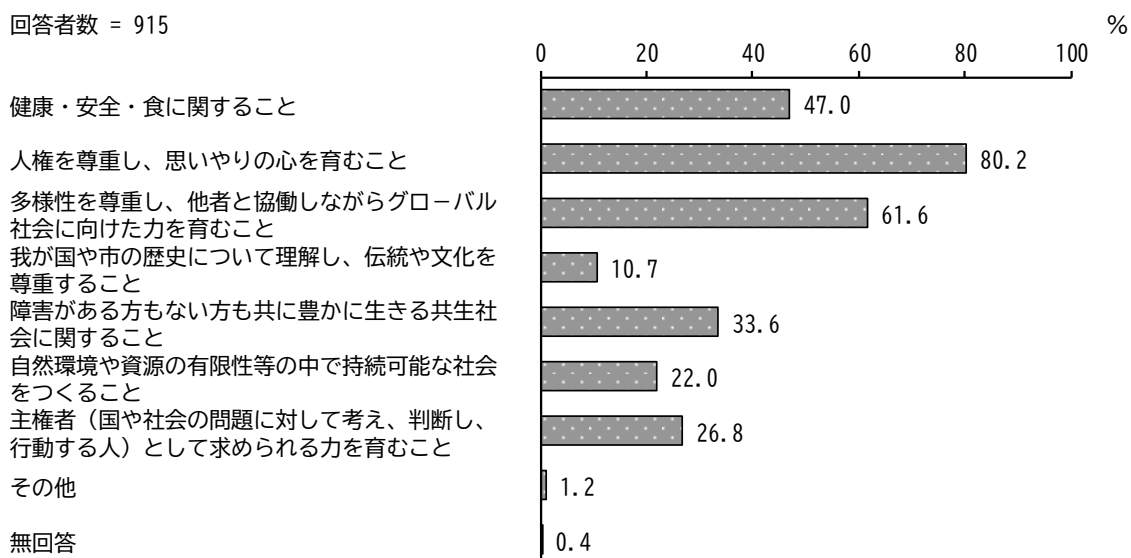
問4 将来の柏市を考えたとき、子どもたちにどのような大人になってほしいですか。(〇は3つまで)

回答者数 = 915



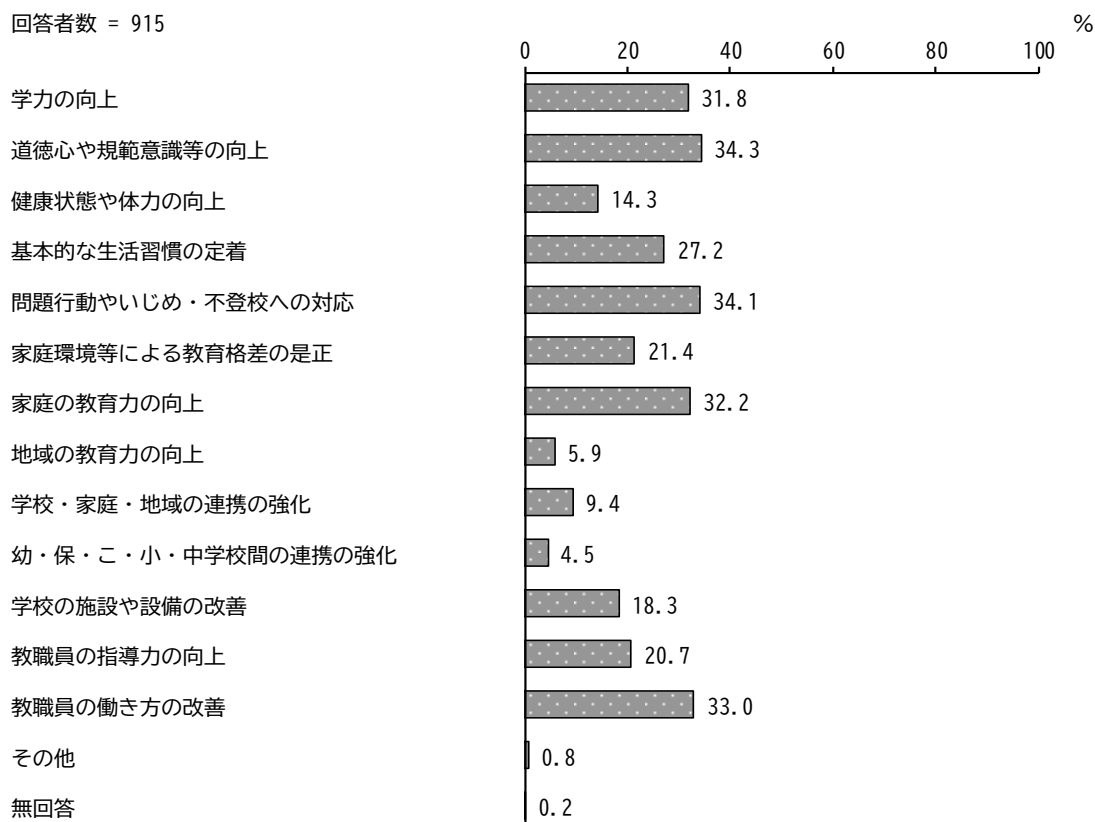
問5 柏市の学校教育で児童・生徒に教えることとして、特に重要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

回答者数 = 915

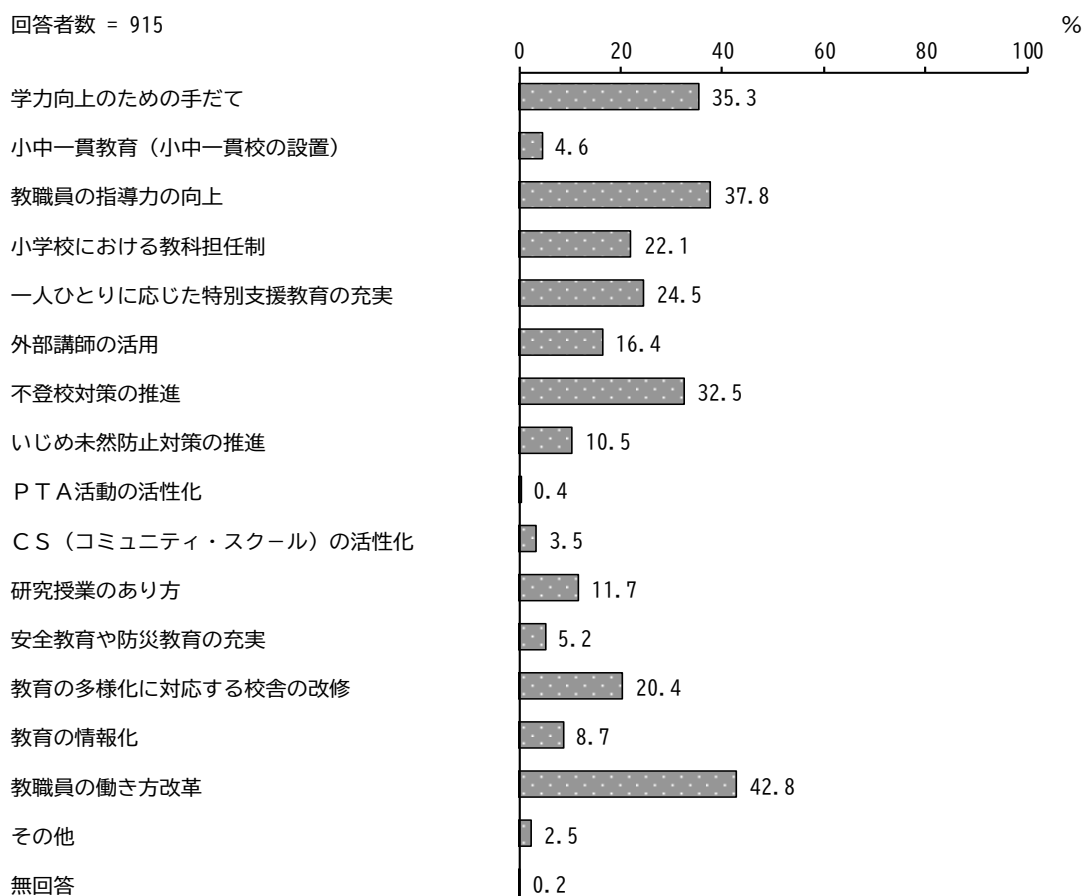


※問1～3は、「勤務先の校種」や「経験年数」を聞いた設問のため、掲載を割愛しています。

問6 柏市における教育的課題と感ずるものは何ですか。(○は3つまで)

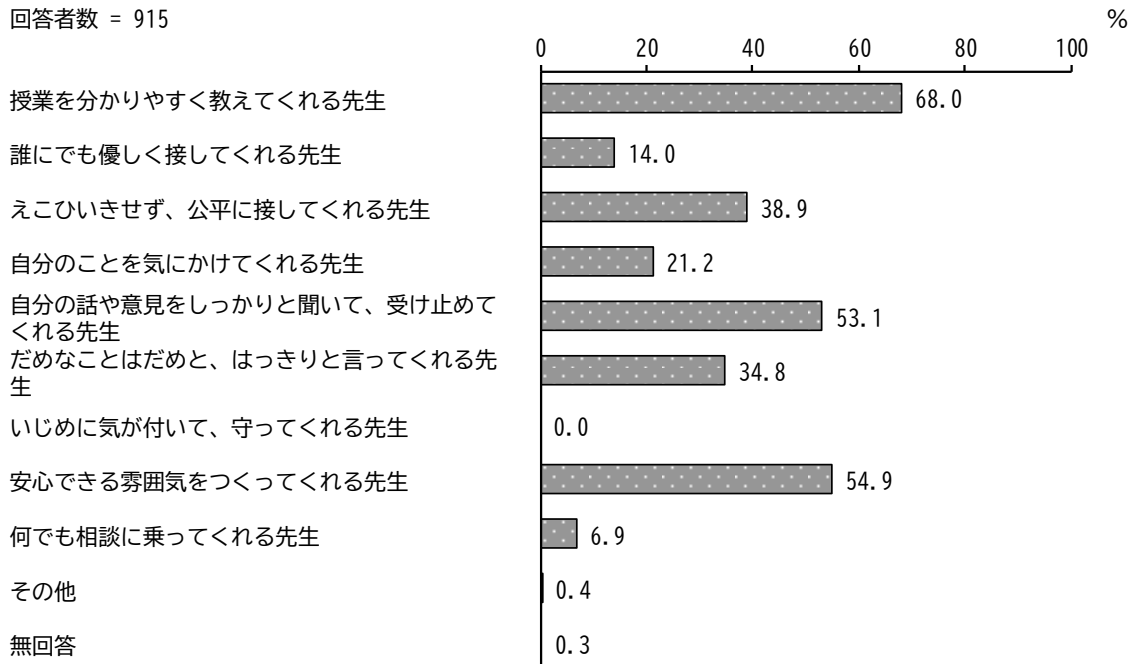


問7 今後、柏市の学校教育で特に重点をおいて取り組む必要があるものは、どれですか。(○は3つまで)



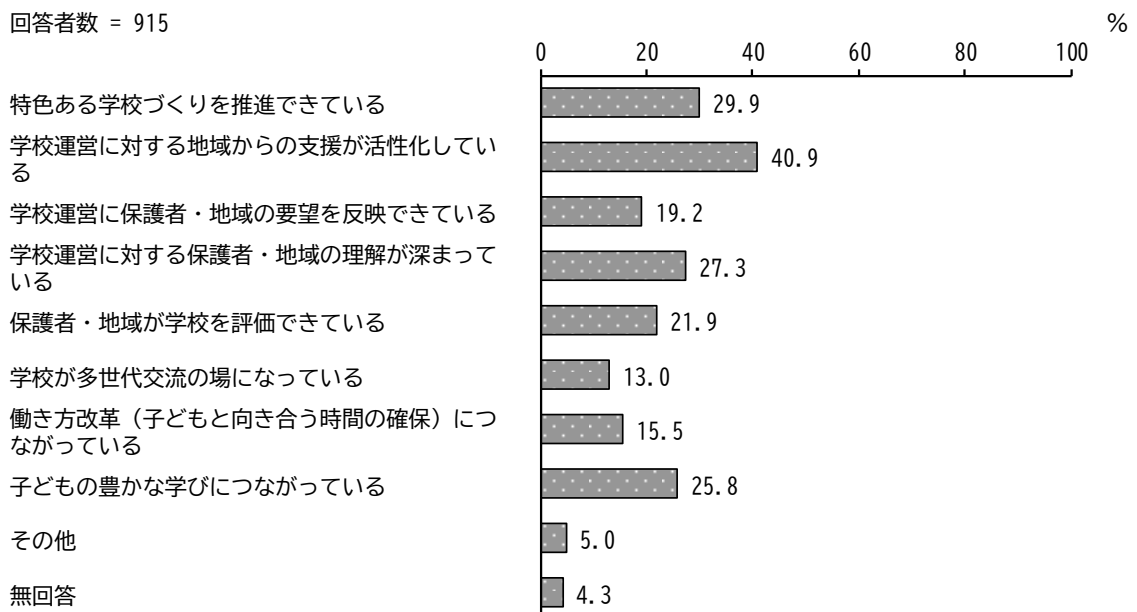
問8 子どもたちが望む先生はどのような先生だと思いますか。(〇は3つまで)

回答者数 = 915



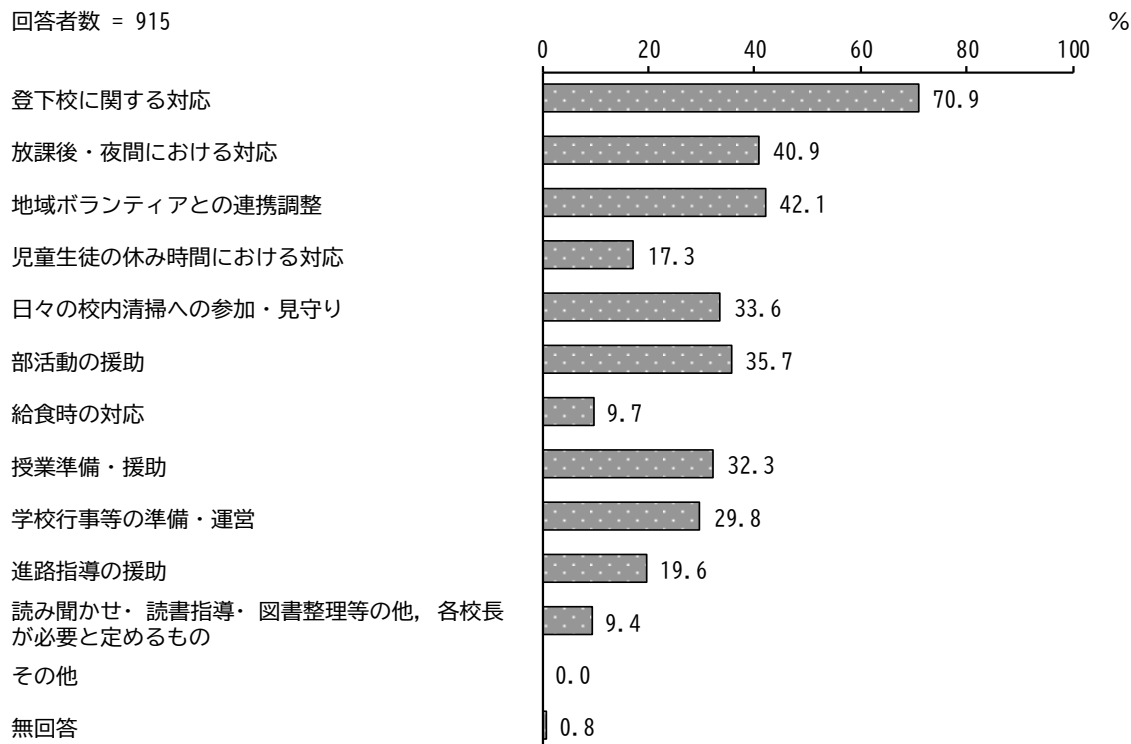
問9 柏市では、「コミュニティ・スクール」「地域学校協働活動」の取組をはじめ、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取組が進められています。この取組について、現状としてどのような成果があると考えますか。(〇はいくつでも)

回答者数 = 915



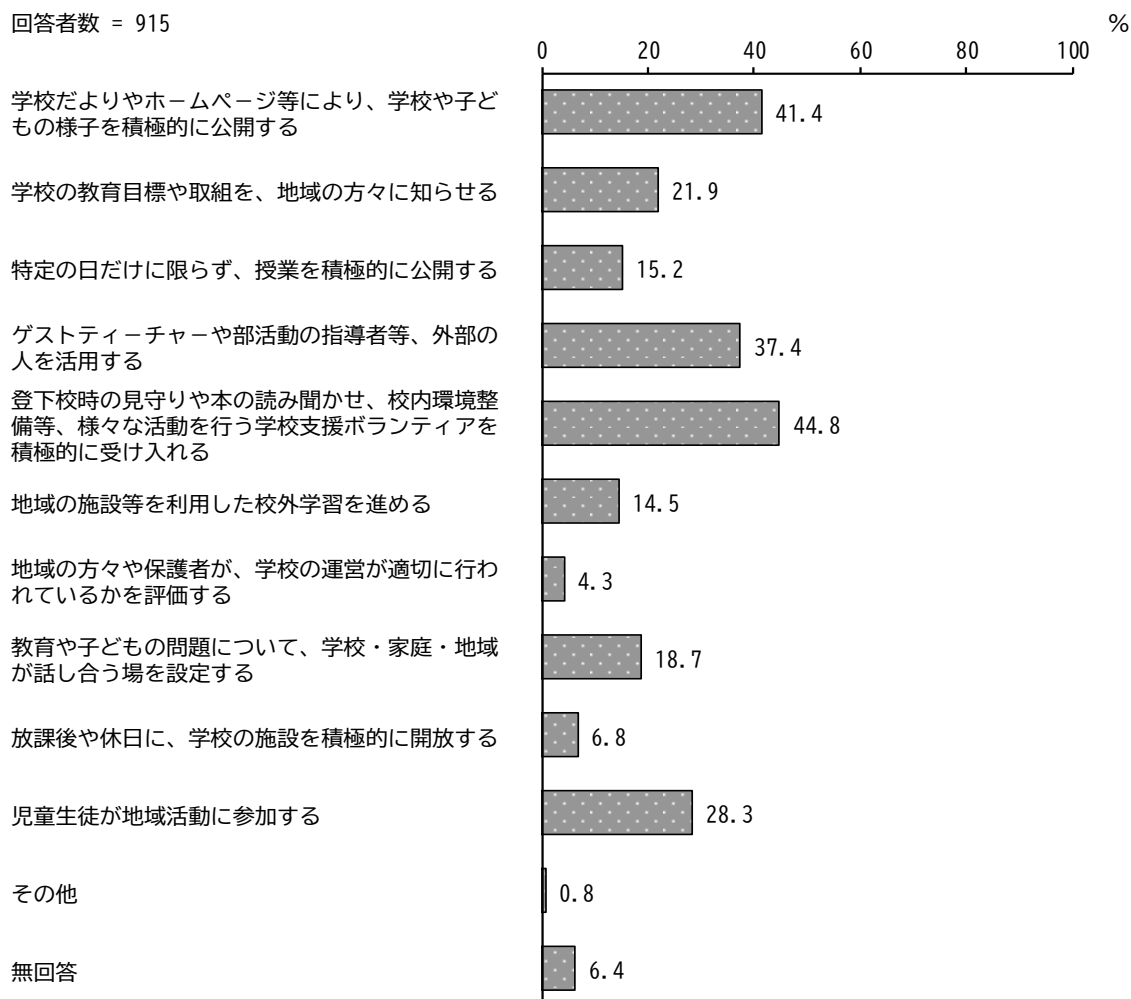
問10 学校として、地域にどのようなことを求めたいですか。(〇はいくつでも)

回答者数 = 915



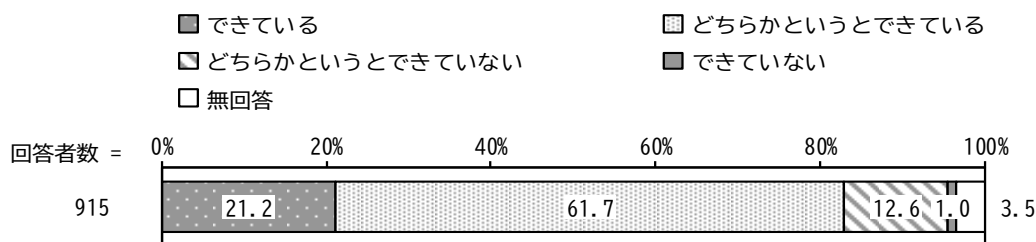
問11 地域とともにある学校（パートナーとしての連携・協働関係）づくりを行うために、何が大切だと思いますか。(〇は3つまで)

回答者数 = 915

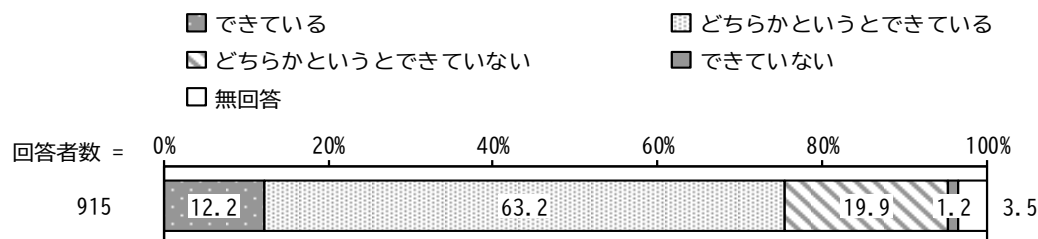




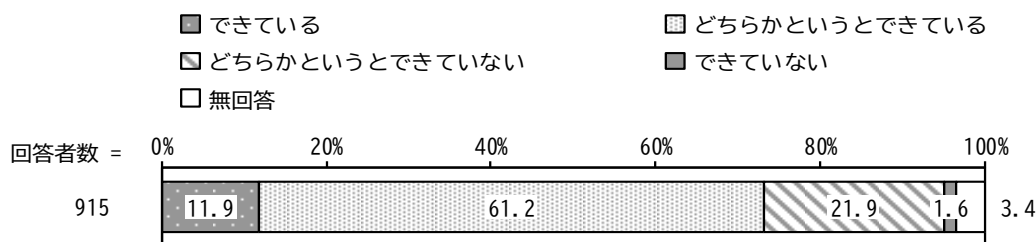
⑥自分の考えを基に周りとの交流を通して、自分の考えを深めたり広げたりしている



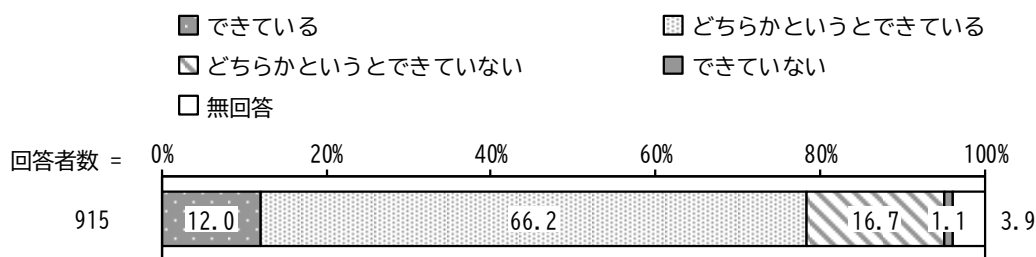
⑦多面的・多角的なものの見方に気付かせる工夫をしている



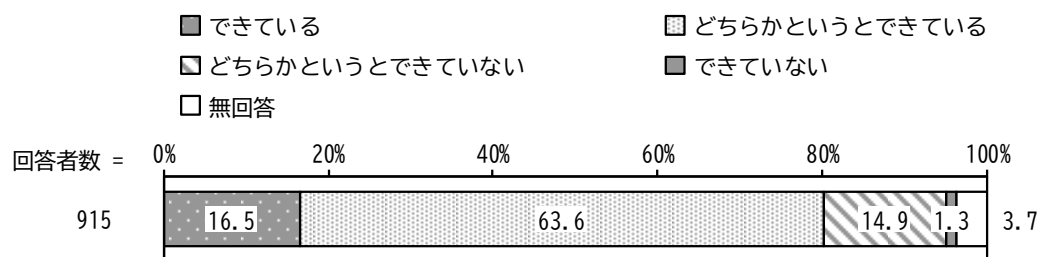
⑧資料等と向き合い自分の考えを構築する時間の確保をしている



⑨それぞれの教科等における「見方・考え方」を働かせて学習に取り組ませている



⑩評価規準を具体化し、指導との一体化を図っている

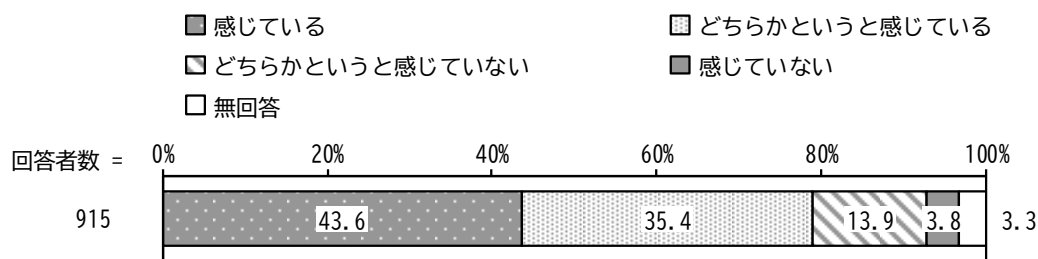


問13 問12の他に「主体的・対話的で深い学び」を実現するために実践していることや課題と  
感じていることがありましたらお答えください。(自由記述)

カテゴリ名	件数
1 児童の主体性・自立促進についての課題	30
2 時間が不足している(授業・教材研究・準備時間)	22
3 対話・グループ活動の充実(話し合いの促進)	19
4 学力のばらつきや基礎学力の低下	12
5 指導方法や教員指導力の向上	11
6 ICT活用の促進とその課題	9
7 カリキュラムや授業進行・単元計画の課題	8
8 自己評価・振り返り・フィードバックの取り組み	8
9 調べ・探求学習の実践充実	7
10 評価方法・評価手続きの課題	5
11 研修・教員間連携・研修充実の必要性	5
12 組織的支援・システムとしての連携不足	5
13 特別支援教育への対応の課題	4
14 社会制度・入試・評価制度との乖離	3
15 学習環境・設備・資源の不足	2
16 その他	5

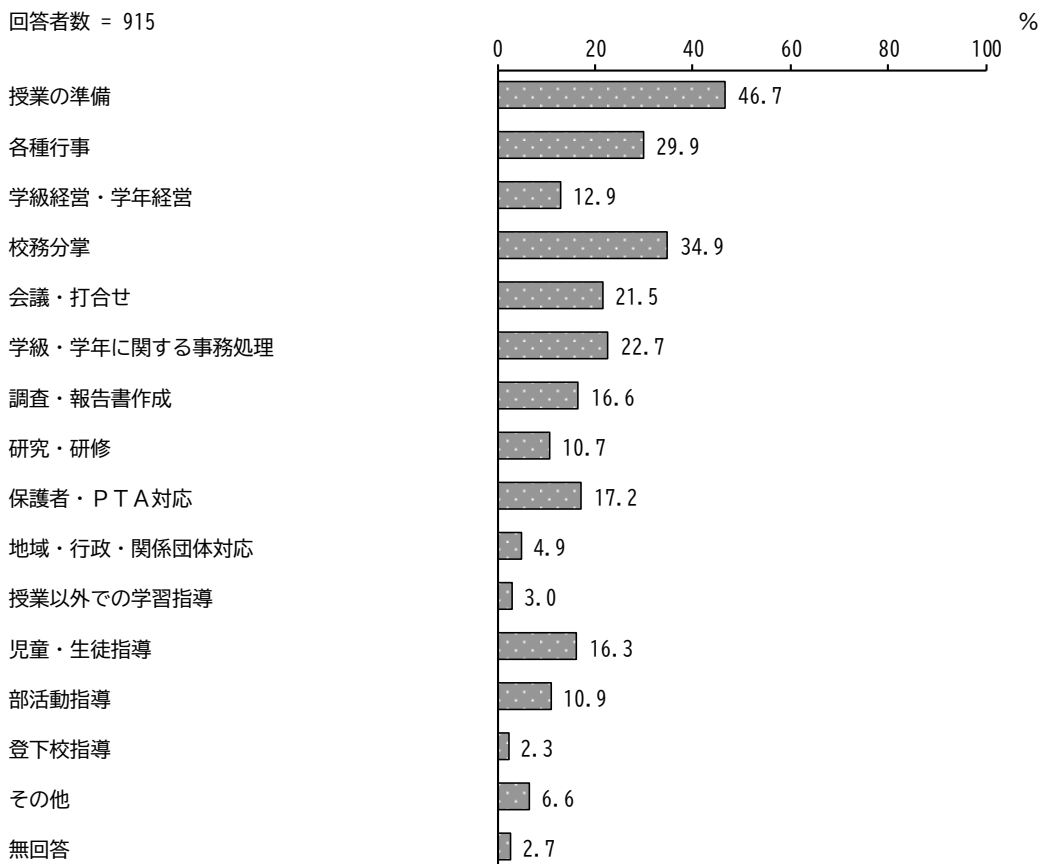
## (2) 勤務の状況等について

問14 あなたはご自身の職務について忙しいと感じていますか。(○は1つ)



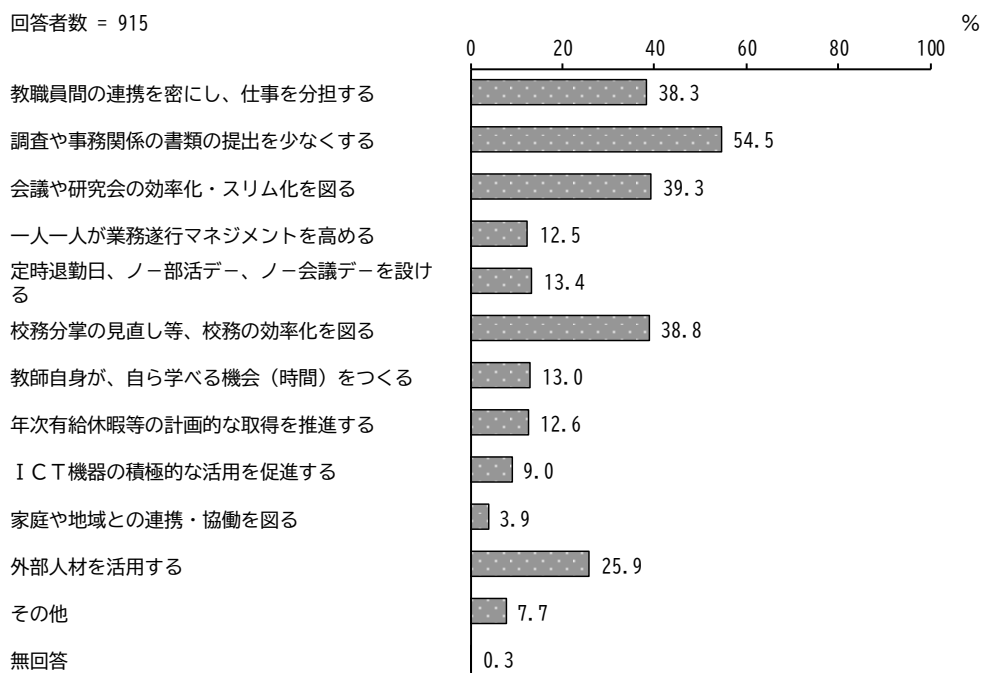
問15 仕事をするうえで、あなたが、授業を行う以外で、時間を要している業務は、どのような業務ですか。(〇は3つまで)

回答者数 = 915



問16 よりよい教育活動を創出するために必要な働き方改革は何だと思いますか。(〇は3つまで)

回答者数 = 915

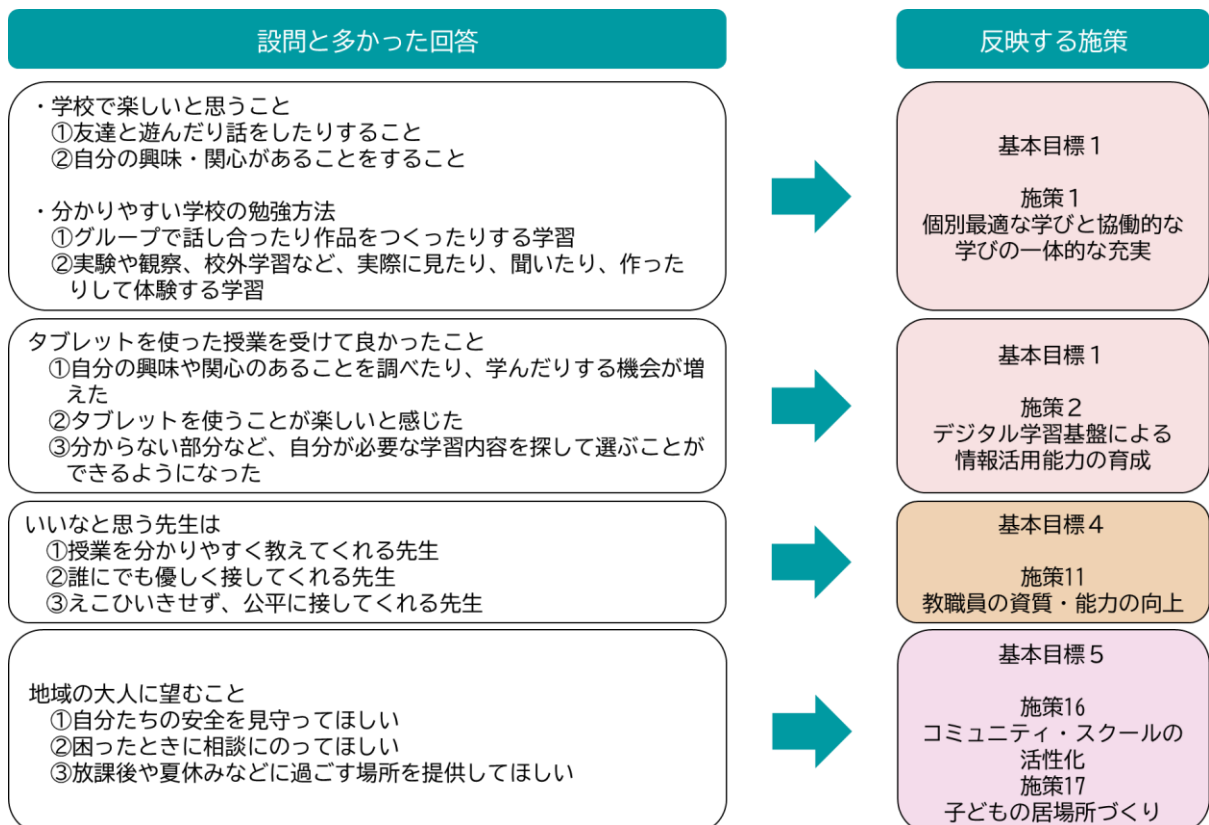


問 17 柏市の教育に関して、課題や問題点、それらを解決していくためにご自身が取り組んでいること、取り組みたいこと、柏市の子ども達に大切なこと等がございましたら、ご記入ください。(自由記述)

カテゴリ	件数
1 教員不足・配置について	39
2 生徒指導・不登校・自律性の育成	26
3 教育改革・制度・カリキュラム改革	23
4 働き方改革・業務負担軽減	21
5 学習支援・授業改善	18
6 教育者育成・研修	17
7 家庭教育・保護者連携	11
8 校内の人間関係について	11
9 地域連携・地域教育	8
10 部活動・課外活動改革	8
11 施設・設備・予算改善	8
14 生徒安全・安心・防犯	7
15 ICT活用・校務効率化	6
16 その他	2

### Ⅲ 子どもの意見

柏市教育委員会では、アンケートでの子どもたちの意見を踏まえ、本計画を策定しました。



## (2) パブリックコメント

本計画の策定に当たっては、広く市民からの意見を聴き参考とするため、意見公募手続（パブリックコメント）を実施しました。

### I 実施の概要

計画案の公表日	令和7年12月10日（水）
意見募集期間	令和7年12月10日（水）から令和8年1月14日（水）まで
市民への周知方法	意見募集要項の配布（広報かしわ、市ホームページ、市内公共施設、教育政策課窓口）

### II 結果の概要

#### 1 提出方法別

意見数	79件
インターネット （指定フォーム、FAQ）	27件
ファクシミリ	6件
郵送	1件
持参	45件
項目数	150件

#### 2 年齢層別

29歳以下	0件
30～39歳	4件
40～49歳	1件
50～59歳	3件
60～69歳	12件
70～79歳	36件
80～89歳	20件
90歳以上	1件
不明（不記載）	2件
計	79件

#### 3 意見の分類（項目別）

分類		意見数
第1部	計画の概要	6件
第2部	基本目標1 子ども主体の学び	9件
	基本目標2 連続性のある学びの実現	53件
	基本目標3 多様な教育ニーズへの対応	24件
	基本目標4 学びを支える教育環境の構築	37件
	基本目標5 家庭・地域との連携・協働の推進	14件
第3部	資料編	4件
その他（体裁や文言の修正、本計画外に関する事）		3件
計		150件

### 3 計画策定の経過

本計画は、柏市教育委員会の附属機関である「柏市教育政策審議会」での審議を経て策定しました。

#### (1) 審議経過

回	開催日	協議内容
第1回	令和7年 8月18日	<ul style="list-style-type: none"><li>● 諮問</li><li>● 教育振興計画の概要について</li><li>● 柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針について</li><li>● 計画の施策体系の検討</li></ul>
第2回	令和7年 10月9日	<ul style="list-style-type: none"><li>● 現行計画の評価について</li><li>● アンケート結果について</li><li>● 施策体系、計画の構成、計画（第1案）の検討</li></ul>
第3回	令和7年 11月25日	<ul style="list-style-type: none"><li>● 計画（第2案）の検討</li></ul>
第4回	令和8年 2月9日	<ul style="list-style-type: none"><li>● パブリックコメントの実施結果</li><li>● 計画（答申案）の確認</li><li>● 答申</li></ul>

## (2) 柏市教育政策審議会委員名簿

(令和8年2月9日現在)

番号	区分	氏名	職等
1	市立学校長	金岡 幸江	柏市立柏第二小学校長
2		山口 祥子	柏市立富勢東小学校長
3		伊藤 嘉章	柏市立富勢中学校長
4		野口 好美	柏市立光ヶ丘中学校長
5		遠藤 英宏	柏市立柏高等学校長
6	市立学校 関係者	鈴木 道貴	柏市PTA連絡協議会長
7		入道 和代	柏市立逆井小学校運営協議会長
8	学識経験者	◎寺本 妙子	開智国際大学教授
9		○丹間 康仁	筑波大学准教授
10	その他	高橋 史成	柏市社会福祉協議会地域福祉課長
11		阿部 孝	柏市ふるさと協議会連合会長
12		田嶋 勉	柏市私立幼稚園協会 すみれ幼稚園長
13		荒井 真彦	柏市青少年健全育成推進連絡協議会長
14		菅原 綾	公募委員 市立学校の児童生徒の保護者
15		松本 早奈恵	公募委員 市立学校の児童生徒の保護者

(◎：会長 ○：副会長)

任期：令和7年7月1日から令和7年10月31日まで

令和7年11月1日から令和9年10月31日まで（任期満了に伴い、全委員を再委嘱）

### (3) 柏市教育政策審議会規則

令和5年10月26日

(教)規則第12号

(趣旨)

第1条 この規則は、柏市附属機関設置条例(平成8年柏市条例第6号)に基づき設置された柏市教育政策審議会(以下「審議会」という。)の組織、運営等に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員)

第2条 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 市立の小学校、中学校又は高等学校の校長
- (2) 市立の小学校、中学校又は高等学校の関係者
- (3) 学識経験者
- (4) その他教育委員会が必要と認める者

2 前項の規定により委嘱された次の各号に掲げる委員は、それぞれ当該各号に定めるときに委員の職を失う。

- (1) 前項第1号に該当する者として委嘱された委員 同号の職を離れたとき。
- (2) 前項第2号に該当する者として委嘱された委員 同号の関係者としての地位等を離れたとき。

(会長及び副会長)

第3条 審議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 審議会の会議(以下「会議」という。)は、必要に応じて会長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 前2項の規定にかかわらず、感染症のまん延の防止の必要その他のやむを得ない事情があると会長が認めるときは、委員に議事に係る意見を求め、その半数以上から意見書の提出があった場合に限り、会長の決定をもって会議の議決に代えることができる。

5 会長は、前項の規定による決定をしたときは、遅滞なく、当該決定について委員に報告しなければならない。

(関係者の出席等)

第5条 審議会は、必要に応じて委員以外の関係者に対し、会議への出席を求めてその意見を聴くこと又は資料の提出を求めることができる。

(審議会の運営等)

第6条 この規則で定めるもの及び次条の規定により教育委員会が別に定めるものを除くほか、審議会の議事及び運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

(補則)

第7条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

(4) 諮問書

柏教政第180号  
令和7年8月18日

柏市教育政策審議会  
会長 寺本 妙子 様

柏市教育委員会  
教育長 田 牧



柏市教育振興計画の策定について（諮問）

柏市教育振興計画の策定について、貴審議会に諮問します。

## (5) 答申書

令和8年2月9日

柏市教育委員会  
教育長 田 牧 徹 様

柏市教育政策審議会  
会長 寺 本 妙 子

「柏市教育振興計画」の策定について（答申）

令和7年8月18日付け柏教政第180号で諮問のあった「柏市教育振興計画」の策定について、慎重に審議を重ねた結果、別紙のとおり答申します。



第3次  
柏市教育振興計画

令和8年3月

---

発行：柏市教育委員会  
編集：柏市教育委員会 教育総務部 教育政策課  
〒277-8503 千葉県柏市大島田4-8番地1

TEL 04-7197-2630

FAX 04-7190-0892